

白井市文化センターのあり方検討委員会 第 6 回 会 議 次 第

日時 令和4年5月31日(火)
午後1時30分から
場所 白井市文化センター2階中ホール

- 1 開会
- 2 任命状交付
- 3 委員長挨拶
- 4 報告事項
 - (1) 第5回会議資料4-1「機能ごとの概算金額に関して」(修正)【資料1】
 - (2) 検討委員会及び検討委員会終了後のスケジュールについて【資料2】
 - (3) 文化施設等の設置及び市制の要件に関する法令について【資料3】
 - (4) 若い世代に向けた市の取組みについて【資料4】
- 5 議題
 - (1) 今後の文化センターのあり方に関する意見交換【資料5】
- 6 その他
- 7 閉会

第 5 回会議資料 4 - 1 「機能ごとの概算金額に関して」(修正)

前提条件について

・概算金額を下記の 2 つに大別する

①施設機能維持のための項目

→機能ごとに分配可能、一部機能中止となった場合は削減できると思われる金額
(例：大ホールの特定天井改修、図書館の電動書庫など)

②施設管理・安全性確保のための項目

→機能ごとに分配が難しい、一部機能中止となった場合でもコストの大きな削減は望めない
(例：外壁の補修、共用部や事務室に関わる項目など)

概算金額表 (詳細は別表)

	① 機能維持	②施設管理・ 安全確保等	合計	事業費 (H31)	職員数 (R2)
大ホール	建築/一般設備： 6.6 億円	3.3 億円	20.3 億円	2,885 万円	4 人
	舞台設備： 10.4 億円				
中ホール	2.1 億円	12.2 億円	18.0 億円	6,103 万円	9 人
図書館	2.9 億円				
郷土 資料館	0.6 億円				
プラネタ リウム	0.3 億円				
エント ランス	—	0.6 億円	0.6 億円	—	—
管理運営 に要する 経費	—	—	—	1 億 177 万円	4 人※
職員人件 費 (セン ター全職 員分)	—	—	—	1 億 4,403 万円	21 人
(小計)	22.9 億円	16.1 億円	38.8 億円	3 億 5,094 万円	

※四捨五入の関係により合計金額は一致しない場合がある

※機器のリース費用に掛かる経費は施設全体で年間約 1,655 万円 (平成 31 年度実績)、表中の「事業費(H31)」の金額に含まれる (詳細は資料 1 - 2 を参照)

※施設管理等職員 4 人 (センター長 1 人・施設管理担当 3 人 (H31.5 月以降))

- ・舞台設備 (舞台機構、照明、音響等) は、文化会館棟の改修費用のうちおよそ半分の金額を占めている。これまで大規模な更新を行ってきていないことから、「①機能維持」に係る金額の割合が大きくなっている。
- ・図書館棟は、事務室や機械室等の共用/管理部分を含むため、「②施設管理・安全確保等」に係る金額が大きくなっている。

平成 31 年度文化センター歳出決算額について

検討委員会第 5 回会議で機能ごとの概算金額に関する資料（資料 4 - 1）において指摘があった事項に基づき、以下の点を補足いたします。また、資料 1 - 1 と比較できるよう、館毎の決算額を提示します。

- (1) 運営経費を検討する上で参考となる、各館の運営経費の詳細（その 1 ~ その 6）
- (2) 運営経費のうち、ライフサイクルコストに関連する経費でリースをしている機器の概要と決算額（表中の斜体字（太文字））
- ① 図書館
機械器具賃貸借料 9,399,360 円：図書館電算システム賃貸借料 9,399,360 円
- ② プラネタリウム館
機械器具賃借料 7,079,400 円：デジタルプラネタリウム賃借料 (379,080 円)、光学式プラネタリウム賃借料 (6,700,320 円)
- ③ 文化会館
機械器具賃借料 68,688 円：機械器具賃借料（録音器具） (68,688 円)

以上、合計 16,547,448 円

(総括) 文化センターの運営経費 ※消費税改定：4 月～9 月 (8%)・10 月～3 月 (10%) あり

項目	金額 (円)	内 訳
総額	350,944,730	全体の合計
各館経費	28,845,439	文化会館の運営に要する経費 (その 1)
	61,030,461	図書館の運営に要する経費 (その 2)
	3,341,398	郷土資料館の運営に要する費 (その 3)
	11,919,386	プラネタリウム館の運営に要する経費 (その 4)
	101,774,526	文化センターの管理運営に要する経費 (その 5) ※
	144,033,520	職員人件費 (文化センター全職員分) (その 6)

※ライフサイクルコストの管理運営費用に該当

(その 1) 文化会館の運営に要する経費

款項目	金額 (円)	内 訳
9 款 4 項 9 目 文化会館費	28,845,439	01 事業と 02 事業の合計
	26,187,743	01 事業 ●文化会館管理運営に要する経費
	2,657,696	02 事業 ●文化会館自主事業運営事業

9 款 4 項 9 目 文化会館費 01 事業 ●文化会館管理運営に要する経費

事業の概要：利用者へのサービス維持のため文化会館設備の維持を図る。

節	金額 (円)	決算内容
合計	26,187,743	
1. 報酬	140,700	
報酬	140,700	文化会館運営協議会委員報酬 (9 人分)
7. 賃金	2,099,806	
臨時職員賃金	2,099,806	臨時職員賃金
9. 旅費	2,762	
普通旅費	2,762	研修、雇用保険事務関係
11. 需用費	767,453	
消耗品費	420,092	消耗品費 (舞台用 406,906 円、事務用 13,186 円)
食糧費	4,821	文化会館運営協議会飲物代 4,821 円 (3 回分)

修繕料	342,540	ワイヤレスマイク修理、中ホール舞台照明設備修理
12. 役務費	27,000	
手数料	27,000	ピアノ定期調律（ベーゼンドルファー）
13. 委託料	18,686,133	
ピアノ保守点検委託料	365,169	スタインウェイ、ベーゼンドルファー、ヤマハコンサート・アップライト（2台）
舞台音響保守点検委託料	2,026,544	舞台音響保守点検委託料
舞台業務委託料※長期	10,694,080	舞台業務委託料（音響、照明、管理）
舞台照明保守点検委託料	2,779,420	舞台照明保守点検委託料（大ホール・中ホール）
舞台設備保守点検委託料	2,820,920	舞台設備保守点検委託料（大ホール・中ホール）
14. 使用料及び賃借料	68,688	
機械器具賃借料（長期）	68,688	機械器具賃借料（録音器具）
15. 工事請負費	2,686,750	
中ホール舞台設備暗幕昇降装置更新工事	2,686,750	中ホール舞台設備暗幕昇降装置更新工事
18. 備品購入費	722,251	
文化会館用備品	722,251	文化会館用備品（スタッキングチェア、スタッキングチェア用台車、音響録音再生機器、除湿器）
19. 負担金補助及び交付金	64,500	
全国公立文化施設協会負担金	28,000	全国公立文化施設協会負担金
千葉県公立文化施設協議会負担金	8,200	県公立文化施設協議会負担金
電波利用料	3,600	電波利用料（簡易無線局電波利用料）
臨時職員等雇用保険負担金	24,700	臨時職員等雇用保険負担金（雇用保険、労災保険）
23. 還付金利子及び割引料	921,700	
還付金	921,700	過年度還付

9款4項9目 文化会館費 02事業 ●文化会館自主事業運営事業

事業の概要：文化会館の自主事業として、市民に優れた芸術文化に接する機会を提供するため各種公演等を開催する。

節	金額（円）	決算内容
合計	2,657,696	
11. 需用費	132,965	
消耗品費	23,589	チラシ・ポスター製作用、ケータリング用
食糧費	7,986	自主事業（2演目分） ※1演目はコロナで中止
印刷製本費	101,390	チラシ印刷（3演目分）
12. 役務費	1,341,303	
広告料	162,800	広告料（2演目分）
手数料	1,178,503	チラシ折込手数料（28,503円）、公演手数料（1,150,000円）
13. 委託料	250,140	
システム等保守点検委託料※長期	250,140	自主事業システム保守点検委託料
14. 使用料及び賃借料	933,288	
システム使用料※長期	933,288	自主事業システム賃借料

（その2）図書館の運営に要する経費

款項目	金額（円）	内 訳
9款4項6目 図書館費	61,030,461	01事業、02事業、03事業の合計

14, 285, 339	01事業 ●図書館電算システム運用に要する経費
25, 140, 230	02事業 ●図書館サービス推進事業
21, 604, 892	03事業 ●図書館資料整備事業

9款4項6目 図書館費01事業 ●図書館電算システム運用に要する経費

事業の概要：高度情報化社会に対応するため、電算システムの見直しを行い、サービス向上に努める。地域の情報拠点として、時代のニーズに合った電算システムの導入を調査・研究し、より利用しやすい図書館を目指す。

節	金額（円）	決算内容
合計	14, 285, 339	
11. 需用費	251, 887	
消耗品費	251, 887	電算システム消耗品
12. 役務費	68, 016	
通信運搬費	68, 016	インターネット回線使用料（NTT）
13. 委託料	4, 042, 876	
電算委託料	319, 000	電算システムの端末のOSのサポート終了に伴い、インターネットに接続する端末をアップグレード
機器保守点検委託料	3, 723, 876	図書館電算システム保守料金
14. 使用料及び賃借料	9, 922, 560	
システム使用料	523, 200	図書発注システム使用料（ツールアイ）
機械器具賃貸借料	9, 399, 360	図書館電算システム賃貸借料

9款4項6目 図書館費 02事業 ●図書館サービス推進事業

事業の概要：図書館法に基づき、市民に知識と情報を提供する。

節	金額（円）	決算内容
合計	25, 140, 230	
1. 報酬	114, 300	
図書館協議会委員報酬	114, 300	図書館協議会委員報酬（6人分） 年3回開催
7. 賃金	19, 194, 730	
臨時職員賃金	19, 194, 730	非常勤職員賃金
9. 旅費	34, 154	
普通旅費	8, 454	出張旅費（児童サービス研修委員会、相互協力担当者会議、雇用保険手続き）
特別旅費	25, 700	研修旅費（図書館協議会総会・研修、参考郷土等スキルアップ研修、地域行政資料研修他）
11. 需用費	575, 858	
消耗品費	406, 829	図書整理用消耗品、新刊全点案内、タイルカーペット
食糧費	2, 709	図書館協議会飲物代 3回分
印刷製本費	66, 960	4ヶ月育児相談の際、赤ちゃんに贈呈するもの
修繕費	99, 360	図書館内布製ソファ張り替え
13. 委託料	4, 519, 360	
電算用書誌データ作成委託料	1, 744, 000	電算用書誌データ作成委託料（新刊全件マーク）
図書館資料運搬業務委託料※長期	1, 951, 160	資料運搬業務委託料（各センター図書室・市立保育園・学校・高齢者福祉施設等巡回運搬）
電算用視聴覚データ作成委託料	57, 200	電算用視聴覚データ作成委託料（視聴覚マーク、DVD、CD）
電動書架点検業務委託料	440, 000	電動書架点検
電算用雑誌書誌データ作成委託料	327, 000	電算用雑誌書誌データ作成委託料（雑誌マーク）

18. 備品購入費	427,032	
図書館用備品	427,032	入場者カウンター設備更新
19. 負担金補助及び交付金	274,796	
県公共図書館協会負担金	10,400	千葉県公共図書館協会負担金
日本図書館協会負担金	23,000	日本図書館協会負担金
臨時職員等保険料負担金	241,396	非常勤職員労災保険料・雇用保険料

9款4項6目 図書館費 03事業 ●図書館資料整備事業

事業の概要：本を読む楽しさや市民の生涯学習を支援するため、新鮮で豊富な魅力ある図書館資料を収集（購入）整理・保存し、将来にわたって知識と情報を提供する。幅広い市民の読書要求に応じた資料の充実とともに、計画的な蔵書構成を図る。

節	金額（円）	決算内容
合計	21,604,892	
11. 需用費	2,966,905	
消耗品費	2,966,905	新聞、雑誌、新聞縮刷版
14. 使用料及び賃借料	660,276	
システム使用料	660,276	有料データベース使用料（朝日聞蔵Ⅱ、毎索、官報情報検索サービス）
18. 備品購入費	17,977,711	
図書館用備品	17,977,711	図書、視聴覚（朗読CD・CD・DVD）、特殊資料（地図）等

（その3）郷土資料館の運営に要する費

款項目	金額（円）	内 訳
9款4項8目 郷土資料館費	3,341,398	01事業、02事業、03事業の合計
	2,836,683	01事業 ●郷土資料館管理運営に要する経費
	128,661	02事業 ●市民学芸スタッフ古文書修補活動事業
	376,054	03事業 ●郷土資料館展示・教育普及事業

9款4項8目 郷土資料館費 01事業 ●郷土資料館管理運営に要する経費

事業の概要：施設環境の維持・管理、資料の保存措置、資料の貸借及び管理。年報の作成。専門的事務及びその他事務等。白井市郷土資料館運営協議会の開催。

節	金額（円）	決算内容
合計	2,836,683	
1. 報酬	93,800	
報酬	93,800	郷土資料館運営協議会委員報酬（7人・2回分）
7. 賃金	2,154,310	
賃金	2,154,310	臨時職員賃金
8. 報償費	5,875	
謝礼品	5,875	謝礼品
9. 旅費	9,160	
費用弁償	4,800	運営委員会委員の費用弁償
特別旅費	4,360	総会・研修等
11. 需用費	206,274	
消耗品費	105,995	施設維持管理・資料管理
食糧費	969	運営協議会委員飲物代
印刷製本費	60,480	年報印刷代
修繕料	38,830	温湿度計オーバーホール

13. 委託料	313,670	
機器保守点検委託料	27,000	プリンターの保守契約料
環境測定委託料	286,670	環境測定委託料
18. 備品購入費	32,720	
備品購入費	32,720	種子島式火縄銃（レプリカ）、書籍
19. 負担金補助及び交付金	20,874	
県博物館協会会員費	5,000	県博物館協会会費
臨時職員保険料負担金	15,874	臨時職員保険料負担金 労災保険料、雇用保険料

9款4項8目 郷土資料館費 02事業 ●市民学芸スタッフ古文書修補活動事業

事業の概要：市の歴史を伝える重要な資料である古文書を、後世まで良好な状態で守り伝える。

節	金額（円）	決算内容
合計	128,661	
11. 需要費	125,511	
消耗品費	125,511	古文書の修補用紙（和紙）等
12. 役務費	3,150	
保険料	3,150	ボランティア保険代

9款4項8目 郷土資料館費 03事業 ●郷土資料館展示・教育普及事業

事業の概要：市民に市の歴史・文化を知る機会や学ぶ機会を提供することで市の教育、学術及び文化の発展に寄与する。

節	金額（円）	決算内容
合計	376,054	
8. 報償費	28,000	
講師謝礼金	28,000	寄贈資料鑑定に係る謝礼
11. 需用費	90,654	
消耗品費	89,272	展示関係・普及事業関係
食糧費	1,382	体験教室講師茶菓代
13. 委託料	257,400	
燻蒸委託料	257,400	燻蒸委託料

（その4）プラネタリウム館の運営に要する経費

款項目	金額（円）	内 訳
9款4項7目 プラネタリウム費	11,919,386	01事業 ●プラネタリウム館運営事業費

9款4項7目 プラネタリウム費 01事業 ●プラネタリウム館運営事業費

事業の概要：学校教育・生涯学習のための拠点となる。空を見上げ、自然と触れ合う機会をつくる。白井市をアピールする施設となる。

節	金額（円）	決算内容
合計	11,919,386	
1. 報酬	52,800	
報酬	52,800	運営協議会委員報酬（4人・2回分）
7. 賃金	2,650,728	
賃金	2,650,728	臨時職員賃金
8. 報償費	281,326	

謝礼金	245,000	講演、投映、ライブ演奏講師謝礼、星見会補助員謝礼
謝礼品	25,662	手土産、コンサート花束、ボランティア謝礼
記念品	10,664	星の絵展参加賞、来館12回記念品
9. 旅費	13,096	
普通旅費	3,238	番組等ソフト制作にかかわる旅費
特別旅費	9,858	視察・研修等
11. 需用費	577,916	
消耗品費	346,751	電球、書籍、番組素材、用紙等
食糧費	5,535	講演会、コンサート、運営協議会の際の茶菓・軽食代
印刷製本費	225,630	リーフレット印刷代
12. 役務費	48,264	
通信運搬費	19,024	メール便、宅急便代
手数料	29,240	ドーム椅子カバークリーニング代
13. 委託料	986,200	
保守点検委託料	986,200	デジタルプラネタリウム保守点検 (224,400円)、光学式プラネタリウム保守点検 (761,800円)
14. 使用料及び賃借料	7,093,745	
賃借料	7,093,745	機械器具賃借料 7,079,400円 デジタルプラネタリウム賃借料(H26.7~H31.6) (379,080円)、光学式プラネタリウム賃借料(H27~R6) (6,700,320円)
使用料		著作権使用料 14,345円
18. 備品購入費	189,000	
備品購入費	189,000	番組制作用パソコン購入費
19. 負担金補助及び交付金	26,311	
負担金	26,311	日本プラネタリウム協議会負担金 (10,000円)、臨時職員保険料負担金 (16,311円)

(その5) 文化センターの管理運営に要する経費

款項目	金額 (円)	内 訳
9款4項5目 文化センター費	101,774,526	02事業 ●文化センターの管理運営に要する経費

9款4項5目 02事業 文化センター費 ●文化センターの管理運営に要する経費

事業の概要：文化センターの管理運営を適切に行う。

節	金額 (円)	決算内容
合計	101,774,526	
7. 賃金	685,110	
臨時職員賃金	685,110	臨時職員賃金
11. 需用費	38,752,933	
消耗品費	1,248,968	消耗品費 (コピー用紙、印刷機のインク・マスター、施設維持管理消耗品 (蛍光灯等))
光熱水費	34,671,270	電気22,662,202円、ガス8,290,703円、水道2,805,800円、下水道912,565円
修繕費	2,832,695	主な修繕 (加圧給水装置モータ交換、図書館棟屋上排煙機塗装、消防用設備 (誘導灯・客席灯)、スプリンクラー設備、冷温水ポンプ分解整備、エントランス屋上雨漏り、図書館児童開架系統蒸気遮断弁交換)
12. 役務費	1,005,567	
通信運搬費	618,098	電話・FAX料金 4回線 (内線、施設機械警備 (セコム) 通信回線を含む)
保険料	387,469	建物災害共済保険料、施設入場者保険料 (公民館総合保障制度)

13. 委託料	53,239,866	
警備委託料※長期	517,924	図書館・文化会館夜間開館時警備員
施設警備委託料※長期	209,280	施設機械警備委託料（センサーによる機械警備）
自家用電気工作物保守点検業務委託料	1,064,764	自家用電気工作物保安点検業務委託料
自動扉保守点検委託料	436,000	自動扉保守点検委託料
樹木管理委託料	4,117,760	樹木管理委託料 庭園管理委託（芝刈り・芝土壌（薬剤）処理・エアレーション）・庭園除草作業委託、北山杉の剪定（隔年のため実施無し）
消防設備保守点検委託料	821,523	消防設備保守点検委託料
施設総合管理委託料※長期	35,446,800	文化センター総合管理業務委託（ビル管理業務）（清掃業務（日常清掃、定期床、ガラス清掃）、設備業務（電気、機械設備）、建築物環境衛生管理、一般廃棄物処理、薬注処理業務、レジオネラ菌検査）
エレベーター保守点検業務委託料	2,799,120	エレベーター保守点検業務委託料
ボイラ設備保守点検委託料	309,463	ボイラ設備保守点検委託料
自動給水装置保守点検委託料	237,620	自動給水装置保守点検委託料
自動制御装置保守点検委託料	2,872,160	自動制御装置保守点検委託料
簡易専用水道施設法定検査委託料	3,300	簡易専用水道設備法定検査委託料
駐車場整理業務委託料	1,360,872	駐車場整理業務委託料 （行事開催など駐車場の混雑が予想される場合に、駐車場の誘導整理を委託）
空調機点検委託料	218,000	空調機設備保守点検委託料
空調熱源機保守点検委託料	2,825,280	空調熱源機保守点検委託料
14. 使用量及び賃借料	85,270	
印刷機賃借料※長期	71,280	印刷機賃借料
放送受信料	13,990	NHK放送受信料
15. 工事請負費	7,560,000	
空調用自動制御装置修繕工事	7,560,000	空調用自動制御装置修繕工事
18. 備品購入費	436,210	
管理用備品	436,210	事務用電気裁断機、電動シュレッダー
19. 負担金補助及び交付金	9,570	
負担金	9,570	研修負担金（防災管理者講習受講料、臨時職員等保険料負担金）

（その6）職員人件費（文化センター全職員分）

款項目	金額（円）	内 訳
9款4項5目 文化センター費	144,033,520	01事業 ●一般職員人件費（文化センター職員全員分）

9款4項5目 01事業 ●一般職員人件費（文化センター職員全員分）

節	金額（円）	決算内容
合計	144,033,520	
2. 給料	78,134,456	
給料	78,134,456	職員21名（4月のみ22名）（センター長1・文化会館4・図書館9・郷土資料館2・プラネタリアム館2・管理3（4））
3. 職員手当等	43,046,823	
職員手当等	43,046,823	職員21名（4月のみ22名）（センター長1・文化会館4・図書館9・郷土資料館2・プラネタリアム館2・管理3（4））
4. 共済費	22,852,241	
共済費	22,852,241	職員21名（4月のみ22名）（センター長1・文化会館4・図書館9・郷土資料館2・プラネタリアム館2・管理3（4））

平成 31 年度 文化センター歳入決算額

(総括) 文化センターの歳入総額

項目	金額 (円)	内 訳
総額	16,574,456	全体の合計
	15,192,960	使用料及び手数料 (その1)
	1,381,496	諸収入 (その2)

(その1) 使用料及び手数料 (14款)

収入項目	決算額 (円)	内 容
合計	15,192,960	
文化会館使用料	13,356,440	大ホール (10,350,000円)、中ホール (2,692,090円)、練習室 (314,350円)
文化センター占用使用料	600	郵便ポスト敷地占用料 (4月～3月分)
プラネタリウム使用料	1,835,920	一般投映、学習・幼児団体投映、一般団体・その他

(その2) 諸収入 (21款)

収入項目	決算額 (円)	内 容
合計	1,381,496	
コピー代等	54,680	図書館資料、文化会館、郷土資料館
書籍等販売収入	72,160	書籍販売：郷土資料館115冊分
臨時職員等雇用保険負担金	68,903	図書館、プラネタリウム館、郷土資料館、文化会館
光熱水費実費負担分	329,458	喫茶室及び自動販売機 (3台) の光熱水費 ・自動販売機 79,856円 ・喫茶室 249,602円
電話料金	5,960	公衆電話 1台
文化会館自主事業入場料	409,000	3演目中、1演目は無料のため歳入無し。 ・1演目 401,500円 ・1演目はコロナで中止のため販売312,500円、払い戻し305,000円、差し引き7,500円 合計401,500円+7,500円=409,000円
大会参加費等負担金	14,600	郷土資料館講座関係 (古文書講座テキスト代、体験教室材料代 (勾玉づくり他材料代))
プラネタリウム館自主事業参加者負担金	398,840	星空ライブコンサート、講座・講演会、星を見る会、ひよこプラネタリウム・にんさんぷらネタリウム、あなただけのプラネタリウム
その他	27,895	図書・視聴覚資料の弁償代、図書館利用カード再発行代

検討委員会及び検討委員会終了後のスケジュールについて

区分	内 容	
検討委員会	第1回会議 ～ 第4回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・前提条件の整理(今までの検討経緯、現地調査、市の財政状況、人口推計等) ・市民意見聴取の報告(市民アンケート、ヒアリング、市民ワークショップ①～③等) ・概算工事費の提示(現状機能を維持するため最低限必要な改修費用[改修竹案]38.8億円)
	第5回会議 (令和4年3月)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ワークショップ④⑤・施設見学会結果報告 ・概算コスト提示(棟ごとの竹案改修費用・開館60年目までのLCC・一部改修松案の概算費用) ・委員から意見聴取(コスト関係・市民意見を踏まえ、施設の方針に関して各委員から意見を聴取)⇒第6回の施設理念(案)に反映 ・他自治体の施設理念案を配布 ・今後のスケジュール案の提示
	第6回会議 (令和4年5月)	<ul style="list-style-type: none"> ・文化センターの方針、委員会での大方針を基に施設理念(案)を提示、意見聴取 ・施設構成・導入機能、各部門の整備方針案を提示、意見聴取
	第7回会議 (令和4年8月)	<ul style="list-style-type: none"> ・第6回のテーマと同様、内容の詳細化
	第8回会議 (令和4年10月)	<ul style="list-style-type: none"> ・提言書素案の確認、「提言」の文章案
		<ul style="list-style-type: none"> ・市民意見交換会(提言書案の説明)(令和4年11月) ・パブリックコメント(令和4年12月)
	第9回会議 (令和5年1月)	<ul style="list-style-type: none"> ・第8回での意見、パブリックコメントによる意見等をふまえ、最終版提言書提示 ・委員会において承認を受ける。
検討委員会終了後	教育委員会会議等 (令和5年2・3月)	<ul style="list-style-type: none"> ・提言書を教育委員会に報告後、市長に報告
	市の方針策定 (令和5年3月以降)	<ul style="list-style-type: none"> ・提言書を受けて、文化センターの今後のあり方に関する市の方針を策定

※教育委員会会議への報告は、検討委員会の開催時期により令和5年2月又は3月となる。

市制の要件に関する法令について

市制の要件に関する法令については、「地方自治法第八条」及び千葉県条例「地方自治法第8条第1項第4号の規定による都市的施設その他の都市としての要件に関する条例」に、町から市に移行する際に必要な条件として「都市的施設その他の都市としての要件」は定められていますが、廃止に関しては特に定めがないとのことでしたので、市制要件の一つとして設置した施設を廃止しても市の要件を満たさなくなることはないことが確認できました。

以下、地方自治法の抜粋と地方自治法第八条第一項第四号の規定による都市的施設その他の都市としての要件に関する条例の抜粋を提示します。

1 地方自治法(抜粋)

第八条 市となるべき普通地方公共団体は、左に掲げる要件を具備していなければならない。

- 一 人口五万以上を有すること。
 - 二 当該普通地方公共団体の中心の市街地を形成している区域内に在る戸数が、全戸数の六割以上であること。
 - 三 商工業その他の都市的業態に従事する者及びその者と同一世帯に属する者の数が、全人口の六割以上であること。
 - 四 前各号に定めるものの外、当該都道府県の条例で定める都市的施設その他の都市としての要件を具備していること。
- ② 町となるべき普通地方公共団体は、当該都道府県の条例で定める町としての要件を具備していなければならない。
- ③ 町村を市とし又は市を町村とする処分は第七条第一項、第二項及び第六項から第八項までの例により、村を町とし又は町を村とする処分は同条第一項及び第六項から第八項までの例により、これを行うものとする。

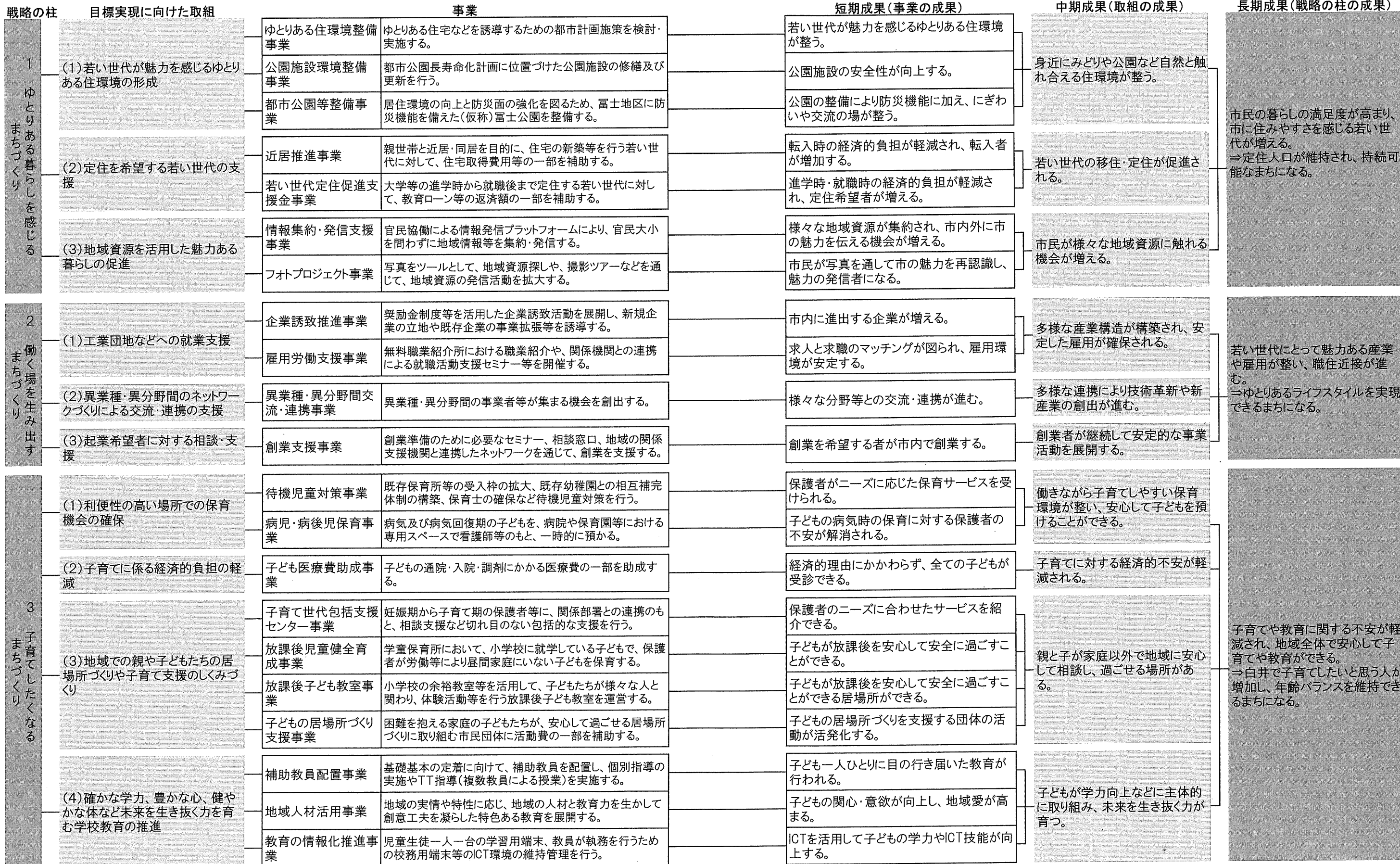
2 地方自治法第八条第一項第四号の規定による都市的施設その他の都市としての要件に関する条例(抜粋)

市となるべき普通地方公共団体は、地方自治法(昭和二十二年法律第六十七号)第八条第一項第一号から第三号までに定めるもののほか、次の各号に掲げる要件を備えていなければならない。

- 一 税務署、公共職業安定所等の官公署が四以上設けられていること。
- 二 学校教育法(昭和二十二年法律第二十六号)第六章に規定する高等学校が設けられていること。
- 三 公私立の図書館、公会堂又は公園等の文化施設を二以上有すること。
- 四 銀行及び会社の数及びその規模が他の市に比しておおむね遜色がないこと。
- 五 商工業その他の都市的業態に係る業務に従事する者及びその者と同一世帯に属する者の数が最近五箇年間増加の傾向にあること。
- 六 病院、診療所、劇場、映画館等の施設が相当設けられていること。

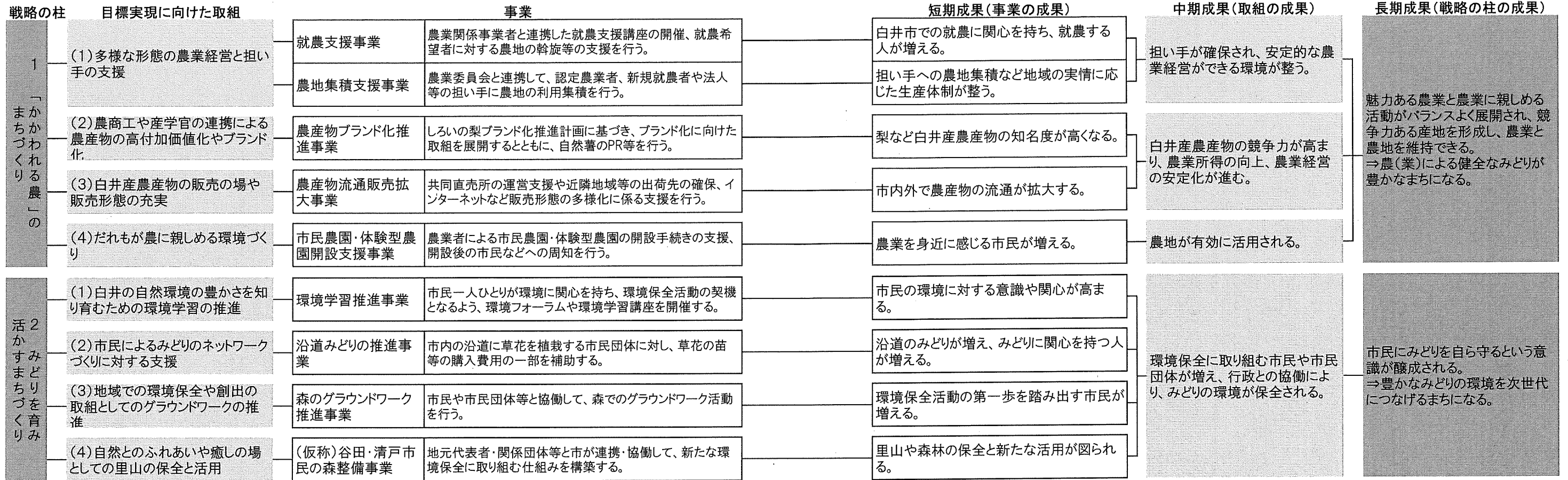
ロジックモデル

◆若い世代定住プロジェクト



ロジックモデル

◆みどり活用プロジェクト



ロジックモデル

◆拠点創造プロジェクト



子どもに係る実施計画事業【重点戦略事業】

資料 4 - 4

重点戦略	戦略の柱	目標実現に向けた取組	事業名	担当課	目的	内容	R3
戦略1 若い世代定住 プロジェクト	1 ゆとりある暮らしを感じるまちづくり	(2)定住を希望する若い世代の支援	若い世代定住促進支援金事業	秘書課	若い世代が転出する傾向にある大学等の進学時、就職時に市内に住み続けるメリットを提供し、市外への転出抑制と若い世代の定住促進を図る。	大学等の進学時から就職後まで市内に定住する若い世代に対して、大学等の進学時に借り入れた教育ローン又は奨学金の返済額の一部を補助する。	・制度のPR ・対象者の認定申請受付
		2 働く場を生み出すまちづくり	(1)工業団地などへの就業支援	雇用・労働支援事業	産業振興課	求職者の就業及び地元企業への雇用を促進するとともに、労働環境を改善する。	無料職業紹介所において職業紹介を行うとともに、関係機関との連携による若い世代等を対象とした就職支援セミナーや就職マッチングイベント等を開催する。
	3 子育てしたくなるまちづくり	(1)利便性の高い場所での保育機会の確保	待機児童対策事業	保育課	特に待機児童が多い3歳未満児を中心とした保育需要に対応するとともに、保育基盤の維持を図り、保護者が働きながら安心して子どもを預けることができる環境を整える。	既存保育所等における受入枠の拡大、小規模保育所等の誘致、既存幼稚園との相互補完体制の構築を行う。 また、保育士の確保に向けて、保育士の処遇改善を行う。	・保育所等への施設型給付費の支給 ・待機児童対策に係る補助 ・保育士処遇改善事業に係る補助 ・保育士処遇改善事業に係る補助 ・幼稚園拡充業務委託 ・幼稚園等送迎ステーション事業委託 ・子育て支援施設賃借
			病児・病後児保育事業	保育課	病気及び病気回復期の子どもに安全な保育を提供することにより、子どもの健全な育成を図るとともに、保護者が働きながら安心して子どもを預けることができる環境を整える。	保育所等、幼稚園及び放課後児童クラブに通う生後6か月から小学校6年生までの病気及び病気回復期の子どもを、病院や保育園等における専用スペースで看護師、保育士のもと、一時的に預かる。	・病児保育の実施 ・病後児保育の実施
		(2)子育てに係る経済的負担の軽減	子ども医療費助成事業	子育て支援課	子どもの医療費を助成し、子どもの保健対策の充実と保護者の経済的負担の軽減を図る。	中学校3年生までの子どもの通院・入院・調剤にかかる医療費の一部を助成する。	・子ども医療費の助成
		(3)地域での親や子どもたちの居場所づくりや子育て支援のしくみづくり	子育て世代包括支援センター事業	子育て支援課・保育課・健康課	妊娠期から子育て期までの切れ目のない包括的な支援により、子育てに関する不安を軽減し、地域における子育て世帯の安心感を醸成する。	妊娠期から子育て期の保護者等に対して、保健と福祉の関係部署との連携・調整のもと、相談支援や子育て支援サービス等の利用支援など、切れ目のない包括的な支援を行う。	・保健師等の専門職による母子保健や育児に関する相談支援の提供 ・各種保育サービスや子育て支援事業に関する情報提供と利用に向けた支援 ・関係部署や関係機関との情報共有
			放課後児童健全育成事業	保育課	子どもが放課後を安心して安全に過ごせる場を提供し、子どもの放課後の居場所づくりと健全育成を図る。	9つの小学校に設置している学童保育所において、小学校に就学している子どもで、保護者が労働等により昼間家庭にいない子どもを保育する。	学童保育所の運営
			放課後子ども教室事業	生涯学習課	子どもが放課後に学習や体験・交流活動ができる場を提供し、子どもの放課後の居場所を確保するとともに、地域社会における人との関わりを通じた豊かな心の育成を図る。	小学校の余裕教室等を活用して、コーディネーターが企画したカリキュラムに沿って、子ども達が異学年の子どもや地域の大人など様々な人と関わりながら、多様な体験活動や交流活動を実施する放課後子ども教室を運営する。	・放課後子ども教室(2校)の運営 ・【新規】放課後子ども教室(1校)の開室・運営
			子どもの居場所づくり支援事業	子育て支援課	地域における子どもの居場所づくりに取り組む市民団体の活動の継続や拡充を支援し、地域全体で子育てを支える環境を整える。	困難を抱える家庭の子どもたちが、地域とのつながりを持ち、安心して過ごせる居場所づくりに取り組む市民団体に対し、活動費の一部を補助する。	調査・検討
		10	(4)確かな学力、豊かな心、健やかな体など未来を生き抜く力を育む学校教育の推進	補助教員配置事業	学校政策課	補助教員の配置により、個に応じたきめ細かな指導・支援の充実を図り、児童生徒の学習意欲の向上と主体的・対話的で深い学びを支援する。	個別指導やTT指導(複数教員による授業)及び読書活動推進のため、学校補助教員及び読書活動推進補助教員を配置する。 また、各学校の実情に応じ、日本語指導補助教員(外国人児童生徒等への日本語サポート)、看護師(医療的配慮が必要な児童生徒へのサポート)を配置する。

網掛けは、子どもから大人まで幅広い世代を対象とした事業

重点戦略	戦略の柱	目標実現に向けた取組	事業名	担当課	目的	内容	
11	戦略1 若い世代定住 プロジェクト	3 子育てしたくなるまちづくり	(4)確かな学力、豊かな心、健やかな体など未来を生き抜く力を育む学校教育の推進	地域人材活用事業	教育支援課	地域の人材を生かした特色ある教育を展開し、児童生徒の地域への愛着や地域の担い手としての自覚を育むとともに、様々な活動を通じて確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成を図る。 地域の実情や特性に応じ、地域の人材と教育力を生かして創意工夫を凝らした特色ある教育を展開し、友好都市との交流活動、器楽演奏、読書活動、演劇指導、キャリア教育、福祉教育、平和学習など、各校で多様な学習を実践する。 また、部活動等(運動、音楽)において、興味関心や技能の向上に向けて専門的な指導員を派遣する。	・各小中学校の体験・交流活動、学習支援活動等への人材派遣及び経費の支援 ・各小中学校の部活動等への指導員派遣及び経費の支援
12				教育の情報化推進事業	学校政策課	「GIGAスクール構想」に基づく高速通信ネットワークや一人一台の学習用端末の有効活用を図り、学校での授業や活動の効果的なICT化を進める。 また、教職員校務の効果的なICT活用を進め、校務の効率化を図り、教職員の働き方改革の一助とする。 児童生徒一人一台の学習用端末や大型提示装置等、学校のICT環境の維持管理を行うとともに、4人のICT支援員等を配置し、活用の技術サポートを行う。加えて、定期的リモート授業を実施・検証する。 また、教職員の校務用端末等の維持管理を行うとともに、オンラインでの研修会や会議を実施・検証する。	・学習用端末等の維持管理 ・授業等でのICT環境の活用促進 ・校務用端末等の維持管理及び機器更新(130台/420台) ・オンライン研修会や会議の促進
13	戦略2 みどり活用 プロジェクト	2 みどりを育み活かすまちづくり	(1)白井の自然環境の豊かさを知り育むための環境学習の推進	環境学習推進事業	環境課・教育支援課・生涯学習課	市民一人ひとりが環境との関わり合いに理解・関心を持ち、白井の自然環境の豊かさを知り、育む意識を醸成する。 市民一人ひとりが環境に関心を持ってもらい、環境保全活動の契機となるよう、環境フォーラムや環境学習講座を開催する。	・市民団体との協働による環境フォーラムや講座等の開催 ・各小中学校の教育計画に基づき、学習や体験等を取り入れた授業の実施 ・市民中学校等の講座で環境に関するカリキュラム実施の検討
14			(3)地域での環境保全や創出の取組としてのグラウンドワークの推進	森のグラウンドワーク推進事業	環境課	市内の森における環境保全の取組を通じて、自然環境を保全し、良質なみどりの環境を創造する。 市民や市民団体等と協働して、森でのグラウンドワーク活動を行う。	グラウンドワーク活動の実施

子どもに係る実施計画事業【分野別事業】

分野	小分野	事業名	担当課	目的	内容	R3
A 健康・福祉	3 子育て支援	子育て支援事業等利用助成事業	子育て支援課	こどもの養育者の経済的負担の軽減を図り、生活の安定及び家庭における子育てを支援する。	生後6か月から10歳未満までの子どもを養育している低所得等の世帯に対し、一時保育やファミリーサポートセンター等の利用に要した費用の一部を助成する。	利用料の助成
		こども発達センター事業	子育て支援課	発達に障がいのある子ども等の発達を促し、保護者の肉体的・精神的負担を軽減するとともに、地域社会への適応力を養う。	発達に障がいのある児童又は発達に支援を要する児童及びその保護者に対して、日常生活の指導、相談等を行う。	・個別指導、検査等の実施 ・グループによる生活指導の実施 ・令和4年度からの児童発達支援センターへの移行準備（保護者説明会、モニタリング等） ・年度末をもって放課後等デイサービス終了
		学習支援事業	子育て支援課	経済的な事情により学びたくても学べない子ども達の学習を支援することにより、負の連鎖を断ち、子ども達が将来への夢と希望を持ち、高等学校等への進学や将来の安定就労につなげる。	低所得世帯の子どもに対して、学習意欲と基礎学力の向上を図れるよう、学習支援を行う。	事業実施に向けた準備
		地域子育て支援拠点事業	子育て支援課・保育課	地域の子育て支援機能の充実により、保護者の子育ての不安感等の緩和、地域での孤立化の防止を図り、子どもの健やかな育ちを支援する。	乳幼児及びその保護者に対して、相互の交流の場の提供や子育てに関する相談指導・情報の提供、育児講座や講演会を開催する。 また、子育てを援助する互助活動を支援する。	・交流の場の提供 ①子育て支援センター（清水口・南山保育園） ②つどいのひろば（白井ふじ・こざくら・はなぶさ・ひまわり保育園） ・ファミリーサポートセンター事業の実施
		ひとり親家庭支援事業	子育て支援課	ひとり親家庭等の生活等を支援し、生まれ育った環境にかかわらず子どもたちの健やかに育つことができる環境を整える。	ひとり親家庭等に対して、子育てに関する相談支援や生活支援、各種給付、安定就労に向けた支援等を行う。	・ひとり親家庭自立支援員による相談支援 ・ひとり親家庭等日常生活支援 ・ひとり親家庭等医療費等助成金の給付 ・ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金の給付 ・ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金の給付 ・母子生活支援施設への入所支援
		一時保育事業	保育課	保護者の就労形態の多様化や疾病、リフレッシュ等に伴う多様な保育ニーズに対応し、子育てを支援する。	生後6か月から小学校就学前の子どもで、保護者の就労、疾病、私的理由等により一時的に保育を必要とする子どもを対象に、預かり保育を行う。	・一時保育の実施（清水口保育園・南山保育園・送迎ステーション） ・送迎ステーションにおける一時保育の保育時間の拡充を検討
		私立保育園等補助事業	保育課	私立保育園等の費用負担を軽減し、児童福祉の向上に資する。	市立保育園の運営に要する費用や、保育士の配置改善や延長保育、一時預かり等にかかる費用の一部を補助する。	市立保育園等運営費補助金の交付（私立保育所（4）、認定こども園（2）、小規模保育所（3））
		私立幼稚園振興事業	保育課	市立幼稚園の費用負担を軽減し、私立幼稚園の振興及び経営の健全化を図る。	私立幼稚園の運営に要する費用の一部を補助する。	私立幼稚園運営費補助金の交付
		保育園食育推進事業	保育課	楽しく食べる体験を通して、子どもの食への関心を育み、食を営む力の基礎を培う。	保育所において食事マナーの指導、野菜の作付け及び収穫、季節の野菜を使った献立の実践などを行う。	保育所等での食育の実施
	4 福祉相談・支援	家庭児童相談事業	子育て支援課	保護者等からの相談に応じ、保護者の育児不安の軽減や、子どもの健全育成を図る。	家庭児童相談室の周知及び虐待防止の啓発を行い、電話相談や子育て支援の情報提供など、家庭児童相談を行う。	・家庭児童相談の実施 ・情報共有システムの導入 ・家庭児童相談システムの導入検討

分野	小分野	事業名	担当課	目的	内容	
A 健康・福祉	5 健康づくり	歯科口腔保健推進事業	健康課・ 保険年金課	市民の生涯を通じた歯と口の健康の保持増進や、歯科疾患の早期発見・早期治療を図る。	幼児、妊婦、成人、後期高齢者などを対象とした歯科健(検)診や、歯科健康相談・教育、歯科診療を実施する。	・幼児、妊婦、成人、後期高齢者を対象とした歯科健(検)診の実施 ・保育園、小学校等における歯科保健指導の実施 ・年末年始歯科診療の実施
		子どもから高齢者までの健康づくり支援事業	健康課	子どもから高齢者までの市民が、望ましい食生活の知識を学び、健全な食生活を実践できるよう支援することにより、市民の健康の保持増進を図る。	各種教室の開催、食育に関する啓発や情報提供、関係機関及び団体と連携した食育推進事業などを行う。	・離乳食教室(かみかみ教室)の実施・保育園や幼稚園での食育支援 ・食生活改善推進員活動及び研修会 ・各センターや関係課での食育支援 ・各種教室の開催(食育講座、料理教室など)・食育啓発 ・しるい食育サポート店事業・栄養士連絡会の実施
		母子保健推進事業	健康課	妊産婦及び乳幼児の健康を保持増進し、妊娠・出産・育児に関する不安軽減を図ることにより母子ともに健やかな生活が送れるようにする。	乳幼児や妊婦の健康診査、母子や家族への保健指導など、関係団体と連携した母子保健事業を行う。	・妊婦、乳児健診費用の助成 ・妊婦と家族向け講座の実施 ・新生児訪問の実施 ・幼児健康診査の実施 ・母子保健推進員活動の支援
B 学習・教育	1 学校教育	ALT配置事業	教育支援課	ALT(13名)の配置により、国際理解教育・外国語活動、外国語教育を充実するとともに、児童生徒がALTと授業内外で関わることで、言語や文化に対する理解を深め、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度や意欲の育成を図る。	全小中学校及び適応指導教室に、英語を母語とする、または同等の能力を有するALTを配置する。	・小学校1・2年の総合学習(週1)、3・4年の外国語活動(週2)、5・6年の外国語(週2)にALTを配置 ・中学校の外国語(週1～2)にALTを配置 ・適応指導教室(週1)にALTを配置
		小学校教育環境向上事業	教育総務課	教育環境の向上を図り、児童や教職員がより安全で快適に学校生活を送れるようにする。	普通教室のエアコンの運用を行うとともに、特別教室へのエアコンの整備や老朽化した児童用の机・椅子の更新を行う。	・普通教室のエアコンの運用 ・特別教室のエアコン整備手法の検討 ・児童用の机・椅子の整備手法の検討
		小学校施設改修等事業	教育総務課	安全安心を最優先に、社会状況の変化に対応した学校施設に求められる機能を確保する。	学校施設の長寿命化計画に基づき、校舎等の大規模改修を行う。	《大規模改修》 ・体育館実施設計(七次台小)
		中学校教育環境向上事業	教育総務課	教育環境の向上を図り、生徒や教職員が、より安全で快適に学校生活を送れるようにする。	普通教室のエアコンの運用を行うとともに、特別教室へのエアコンの整備や老朽化した児童用の机・椅子の更新を行う。	・普通教室のエアコンの運用 ・特別教室のエアコン整備手法の検討 ・生徒用の机・椅子の整備手法の検討
		中学校施設改修等事業	教育総務課	安全安心を最優先に、社会状況の変化に対応した学校施設に求められる機能を確保する。	学校施設の長寿命化計画に基づき、校舎等の大規模改修及び長寿命化改修を行う。	《大規模改修》 ・校舎実施設計(七次台中) ・体育館工事(南山中)
		学校安全対策事業	教育支援課 学校政策課	児童生徒の通学等における安全を確保するとともに、安全・健康・快適な学習環境を確保することにより、安全な学校生活を送れるようにする。	学校防犯ボランティアによる登下校の見守りや付き添い支援、交通安全教室の開催、通学路の合同点検、安全啓発物資の配布等を行う。 また、水質検査、照度検査、学校衛生検査等を実施する。	・学校防犯ボランティアによる見守り及び付き添い支援の実施 ・交通安全教室、通学路の合同点検の実施、安全物資の配布 ・水質検査、照度検査、学校衛生検査等の実施
		教育課題調査研究事業	教育支援課	児童生徒の実態や教育課題を把握し、教職員の資質・能力を向上させることにより、授業等の改善、児童生徒の学習意欲や体力等の向上を図る。	児童生徒の学習のつまずき、体力・運動能力、学級の様子などの各種調査を行い、その結果を分析し、必要な指導等を行う。 また、教職員の資質や能力の向上に資するニーズに沿った研修を行うとともに、研究校において、実証的な研究を行い、その成果を各校に提供する。	・学習振り返り調査(Reナビ)の分析及び中1英語の追加 ・スポーツテストの分析及び次年度の課題設定 ・学校生活についてのアンケート調査の実施及び体育・ICT項目の追加 ・教職員研修の実施及び課題調査 ・指定校による調査研究・成果の提供
		教育相談事業	教育支援課	児童生徒や保護者及び教員の不安や悩みに対応し、児童生徒が学校や家庭等においてより良い人間関係づくりや充実した生活が送れるように支援する。	児童生徒や保護者及び教員を対象に、相談員による面接・電話・訪問等の教育相談を実施する。	・相談員による面接教育・電話相談・訪問相談等の実施 ・相談ケースの集積及び一般化

分野	小分野	事業名	担当課	目的	内容	R3
B 学習・教育	1 学校教育	青少年国際交流事業	教育支援課	青少年の国際理解を深めるとともに、国際的視野を広め、国際交流推進の担い手となる人材の育成を図る。	中学生をオーストラリアの交流校(友好都市キャンパス市のカヤブラム校及びブリンバンク市のキーロー校)へ派遣し、同校から生徒及び引率者を受け入れる。(隔年で実施) また、事業の達成に向けて、活動費用の一部を補助する。	・【受入】交流校からの中学生等の受け入れによる国際交流の実施 ・事前事後あるいは中止時におけるオンラインでの交流の検討 ・青少年海外派遣等補助金の交付
		適応指導教室事業	教育支援課	学校に不適應を起している児童生徒一人ひとりの状況と要因を的確に把握し、早期かつ丁寧に、その要因を解消し、学校への復帰及び社会的自立を促す。	適応指導教室を運営し、不登校及び不登校傾向のある児童生徒の心理面、学習面、生活面の相談・支援を行う。 また、通室する児童生徒の保護者及び在籍校と連携し、指導・支援のあり方を共有する。	・適応指導教室の運営及び指導員の配置 ・通室する児童生徒の保護者・在籍校との連携及び指導・支援のあり方の共有
		特別支援教育事業	教育支援課	障がいのある子ども一人ひとりの教育的ニーズを把握し、生活や学習上の困難を改善又は克服することを支援し、子ども達の自立と社会参加を促す。	教育支援委員会の開催や教育的ニーズに応じた個別支援学級介助員の配置、専門性の高い巡回指導員による指導・助言等を行う。	・教育支援委員会の開催 ・個別支援学級介助員の配置及びニーズの調査・把握 ・巡回指導員等による指導・助言
		小中学生の栄養指導事業	教育支援課	学校給食を通して、児童生徒の発達の段階に則した食育指導を行うことで、児童生徒が健康的な食生活を知り、実践し、将来に向けて心身の健康づくりを促す。	栄養士による食育の授業や給食訪問を通して、食事のあり方や食事内容の過不足による弊害など食生活についての指導を行う。	・栄養士による教室訪問(給食時) ・栄養士による食育の授業の実施 ・給食だより等による食育の啓発・指導
	2 生涯学習	立春式事業	生涯学習課	市内中学校2年生を対象に、「自覚」「立志」「健康」をテーマとした式典をはじめとした各事業を実施し、社会の一員としての自覚や将来の夢を育み、青少年の健全育成を図る。	市内各中学校長及び担当で構成された立春式実行委員会と協議を図るとともに、各中学校で実施する体験学習や記念式典などの事業に必要な経費を補助する。	・各中学校での体験活動・記念式典の実施 ・オンラインによる全中学校合同式典の検討 ・立春式事業のあり方の検討 ・立春式事業補助金の交付
		家庭教育事業	生涯学習課	教育の原点である家庭教育を支援し、保護者の不安や悩みの軽減と子どもの健全な育成を図る。	家庭での子育てやしつけ等について学び考える機会となるよう家庭教育に関する講座の開催や情報提供を行う。	・家庭教育講座(一般講座)の開催及び参加者ニーズの調査 ・各小学校就学前健診時での家庭教育講座の開催 ・オンラインでの家庭教育講座の配信 ・家庭教育通信の発行
		プラネタリウム館運営事業	文化センター	学校教育、生涯学習及び天文を通じた交流活動の場として、市民が生涯を通じ、継続的に星空や宇宙に親しむ環境を提供し、情操を養う。	市民のライフステージや客層に応じた特色ある番組を制作・投映するとともに、学校や幼稚園・保育園などと連携し、教育課程、保育課程に応じた制作・投映及び講座等を行う。 白井天文同好会と協働で観望会を開催する。	・白井市として特色ある番組の制作及び投映 ・学校や幼稚園・保育園と連携した番組の制作及び投映 ・天体観望会・講座、講演会の開催 ・ドーム投映用パソコンの更新(2台)

1. 各種アンケート、ヒアリング等の結果まとめ

あり方検討の参考となる基礎調査結果、関係者や市民の意見などを整理

1. 市民意見調査の総まとめ ⇒①市民意見まとめ

2. ヒアリング、アンケート結果等の要約

〔参考〕調査等の結果概要

- ② 事業内容と利用状況
- ③ 運営管理者（職員）の意見
- ④ 運営協議会の意見
- ⑤ 市民意見（市民アンケート）
- ⑥ 市民意見（市民ワークショップ）

①市民意見まとめ 赤フォント：長所 青フォント：短所

このまとめでは、これまでに実施してきた市民アンケート、ヒアリング（運営者、運営協議会）、活動団体や学校・企業等へのアンケート、市民WS、施設見学会の意見を項目ごとに統合しています。

	文化会館 大ホール	文化会館 中ホール	図書館	プラネタリウム	郷土資料館	共用部・その他
施設の長所短所	<ul style="list-style-type: none"> 音響が良い ・800席の客席 舞台が見やすい ・親子室がある 規模・広さがちょうど良い 居心地・座り心地が良い 設備・備品が良い バリアフリーが不十分 座席幅が狭い 休憩・待機スペースが少ない 特定天井対策、舞台設備の更新 市民利用には規模が大きい 	<ul style="list-style-type: none"> 多用途対応、市民利用に良い規模 上下階への音漏れ（防音・遮音性の向上） 舞台設備の更新 ・舞台が狭い バックスペースを広く 	<ul style="list-style-type: none"> 閲覧スペースの居心地が良い ・蔵書が豊富 本が探しやすい ・勉強に使えるスペースがある 閲覧スペースの不足 ・閲覧席の構成 施設が古く環境が良くない 蔵書が古く種類が少ない トイレが使いにくい（1階のトイレが図書館内にしかないため） 電動書庫の動作に不具合 ・書庫にある本が多い 電子書籍対応 ・CD/DVDの追加 ・本の日焼け防止 児童コーナーの防音 ・遮音性向上 ・防犯対策 子どもが利用しやすい空間 ・会話可能な空間 児童書の開架を広げ、書庫に入っている本を出す 学生や子ども、お年寄りが気軽に飲食できる場 	<ul style="list-style-type: none"> 施設が広く、居心地が良い 施設（投映機等）の性能が良い 座る場所によっては見づらい 席の座り心地が良くない 椅子のリクライニング故障 椅子幅を広くしたい 	<ul style="list-style-type: none"> 展示室、収蔵庫等施設 施設が狭く雰囲気が暗い 諸室不足 ・展示ケースの劣化 収蔵庫の不足 空調/消火設備変更 設備・備品が整備されていない デジタル関係の設備の充実（モニターの設置、動画の生配信等ができる環境） 	<ul style="list-style-type: none"> トイレが少ない 設備機器の全更新が必要 駅から遠い、バスが少ない 壁のクラック・雨漏り・結露 庇、タイルの剥落 飲食施設の充実 コワーキングスペース 多目的スペースの追加 館全体的に暗い雰囲気を感ずる 催し物をデジタルサイネージで掲示、検索 公共交通が弱点 駅からの歩行環境改善
運営面の長所短所	<ul style="list-style-type: none"> 白井市民文化祭、合唱コンクール 市民の学びの場、発表の場 近隣の市からも人が来られるようなイベント 子供向け演劇・演奏会・映画上映会・企業のイベントを開催してほしい ケータリング 文化芸術面での若者/子どもへの支援 	<ul style="list-style-type: none"> サービスがよい ・スタッフの対応 幼児、赤ちゃんへの読み聞かせ、おはなし会 書籍の紹介、発信 	<ul style="list-style-type: none"> 良質なプログラム ・解説が良い 利用料金が手頃 スタッフがよい プログラムが少ない 利用しやすい投映時間の設定 天体の展示を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> 白井の歴史等の展示 ・入場無料 開館時間が適している 公共交通機関で行きやすい 若年層も楽しめる企画がない 自主事業不足 ボランティアによるガイド 	<ul style="list-style-type: none"> 施設間の連携事業 サービス維持拡大には人員不足 情報発信の強化 ・催事の充実 	
あり方への意見	【施設の維持・存続について】					
	<ul style="list-style-type: none"> 現施設を維持するのが良い 改修等が行われても現状の使い方が継続できること（学芸員含めて）が基本で、施設によっては規模の拡大や機能強化・プログラムの工夫等が期待される 機能を更新・近代化して、白井市だけでなくニュータウンの中核施設として利用されるようになってほしい 					
	【施設の文化的機能・市の拠点としてのあり方】					
仮に施設が廃止になった場合の意見	<ul style="list-style-type: none"> 文化センターは市民の学習活動、仲間づくりの場であり、生涯学習都市を標榜する白井市にとって不可欠 生涯学習や文化の発信拠点、文化芸術以外も含めた文化的なトライアルの場 良い刺激をもらい、元気になって帰れる場所、新たな白井、新たな自分に出会える場所 気軽に立ち寄り利用できる場所、地域の文化創造、育成、発信拠点となるべき 					
	【施設の利用者について】					
	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い世代の市民が利用しやすい、集まりやすい施設であること ・30～50代などの働き世代でも活用できる施設であるべき 全ての市民が集まりたい場所、子どもや若者/現役世代も利用しやすい環境づくり ・若い世代、対外的にアピールポイントとして重要 					
仮に施設が廃止になった場合の意見	<ul style="list-style-type: none"> 学校団体で使用可能な施設がなくなってしまう ホールでの合唱や演奏の機会が確保できない 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育に必要な書籍での調べ学習ができなくなる 団体貸出ができないと国語の学習に支障が出る ボランティア団体の活動の場が失われる 図書館が無くなるのは絶対に困る 	<ul style="list-style-type: none"> 理科学習に支障が出る 学習機会の消失 学生の投映の機会やスターキッズなどの子どもが星に触れる機会が減ってしまう 	<ul style="list-style-type: none"> 社会科、地域学習で支障が出る 市の歴史を学ぶ場がなくなる 白井市で文化財の保管管理を行う施設がなくなり、後世へと白井の歴史を残すことが困難になる 		
	<ul style="list-style-type: none"> 文化センター廃止は白井市民全体の文化水準を下げることであり生涯教育含め、健康で文化的な白井市を維持してほしい 廃止は絶対反対。学校関係も大いに利用する。子どもたちの発表会・演奏会で利用する 文化センターはコミュニティ活動に利用されているだけでなく、千葉ニュータウンへ人を誘引する機能もある 白井市の"売り"のひとつ。白井市に人が呼べる施設が無くなるとますます知名度が下がる。廃止したら再度建てることは不可能ではないか 施設がなくなると、関連教科の学習に支障が生じるほか、学習機会が失われ、教育的効果の消失、子供たちの学習意欲の喪失を招く 事業所活動にとって文化センターの有無はさほど影響がないが、市民にとっては必要な施設 					

2. ヒアリング、アンケート結果等の要約

1) 運営管理者（職員）ヒアリング

■ 概要

- 大ホール天井など現行の建築基準法に適合していない箇所があるほか、竣工時から更新されていない設備機器類、剥離や雨漏りの見られる外壁周りなど、施設の老朽化に伴う支障が多数。
- このほか、時代のニーズや新技術への対応（バリアフリー、トイレ、LED 照明、WIFI 環境等）、各種動線、諸室の規模や設備、内装や建具の仕様等、使い勝手や維持管理の点で改善が望まれる建築計画上の課題も多い。

■ 各施設の主要課題

大ホール	特定天井対策、舞台設備の更新
中ホール	上下階への音漏れ、舞台設備の更新
図書館	閲覧席の構成、本の日焼け防止、児童コーナーの反響防止、 電動書庫の動作に不具合、1階のトイレが図書館内にしかない
郷土資料館	展示ケースの劣化、収蔵庫が不足・空調/消火設備変更
プラネタリウム	椅子のリクライニング故障、椅子幅を広くしたい
共通	壁のクラック・雨漏り・結露、庇・タイルの剥落、 設備機器の全更新が必要

2) 運営協議会ヒアリング（4施設運営協議会）

■ 全体（共通）

- 文化センターは市民の学習活動、仲間づくりの場であり、生涯学習都市を標榜する白井市にとって不可欠
- 若い世代、対外的にアピールポイントとして重要
- 現施設の維持が基本で、必要な部分については、拡大、改修、機能向上が望ましい
- 気軽に立ち寄り利用できる場所、地域の文化創造、育成、発信拠点となるべき。
- カフェ機能があると良い
- サービス維持拡大には人員不足

■ 施設別の長所や主な課題

大ホール	○音が良い、800席の客席	△市民利用には規模大
中ホール	○多用途対応、市民利用に良い規模×上下階に音漏れ、舞台狭さ	
図書館		△電子書籍対応
郷土資料館	○展示室、収蔵庫等施設	△諸室不足、自主事業不足
プラネタリウム	○良質なプログラム	

3) 市民アンケート

① 利用実態

- 4つの施設のなかでは図書館利用経験のある市民が8割近くで、文化会館6割、プラネタリウム5割と続く。郷土資料館は3割程度にとどまる。
- 来館頻度は数年に1回以下が3割。
- 複合施設だが7割以上がひとつの施設しか利用していない。

② 施設に対する意見

文化会館	○音響が良い	△駐車場の不足
	○駐車場が広い	
図書館	○蔵書数	△蔵書が古い、電子書籍
	○閲覧スペースの居心地が良い	△閲覧スペースの不足
郷土資料館	○施設がきれい	△施設が狭く雰囲気が暗い
	○展示が興味深い	△展示に魅力がない
プラネタリウム	○居心地が良い	△座り心地が悪くなかった
	○解説、プログラムが良い	△プログラムが少ない

③ 文化センターのあり方についての意見

■ 文化センターの満足度

- 現在の文化センターに「満足している」のは3割程度で、「どちらでもない」が5割近く。「どちらでもない」理由として、利用経験がないことが多く挙げられている。

■ 新しい文化センターに期待すること

- 「施設の方向性」では、幅広い世代の市民が利用しやすい、集まりやすい施設であることを求める意見が多くみられた。
- 「施設面」では、飲食施設の充実、新しい施設・スペースの設置等の意見が多かった。
- 「事業・運営面」では、催事の充実、情報発信の強化等の意見が多く挙げられた。

4) 利用者アンケート

① 文化団体（市内で活動する 22 団体）

■概要（活動状況と長所、課題）

- 多くの団体が日常的に活動し、公演や発表会、練習や稽古を通じて他団体とも交流している
- 同じ趣味を持つ友人ができたり、地域や世代を超えた交流が生まれることを評価するとともに、活動を通じて地域の活性化や福祉教育への貢献に取り組むことにも意欲を持っている
- 白井文化センターは多くの団体に利用されており、音の良さや規模、駐車場などが評価されている。一方、公共交通の不便さが課題とされている。

■新しい文化会館に対して期待することなど

- ・大ホールの音響環境保全(中学校合唱発表会等は子供たちに感動を与える教育の場)
- ・中ホールの音の問題の解消
- ・駅からの歩行環境改善、公共交通手段確保
- ・飲食できる場所の設置、等

④ 学校関係者（市内 9 小学校、5 中学校、印旛地区教育研究会第三部会音楽部会）

■概要（利用状況と評価、改修への期待や廃止の影響など）

- 利用頻度は高くないが、大半の学校が文化センターの 4 施設を利用している
- 文化センターは、知識の習得、関連分野への興味喚起、豊かな感性の習得など、教育的意義大きい
- 各施設の現状については規模や機能、料金や使いやすさ等、概ね満足している。
公共交通が弱点
- 改修等が行われても現状の使い方が継続できること（学芸員含めて）が基本で、施設によっては規模の拡大や機能強化・プログラムの工夫等が期待される
- 施設がなくなると、関連教科の学習に支障が生じるほか、学習機会が失われ、教育の効果の消失、子供たちの学習意欲の喪失を招く

■施設が廃止された場合に生じる問題点

文化会館	学校の団体で使用可能な施設がなくなってしまう、 ホールでの合唱や演奏の機会が確保できない
図書館	学校教育で必要な書籍での調べ学習ができなくなる、 団体貸し出しができないと国語の学習が成り立たなくなる
郷土資料館	社会科、地域学習で支障が出る、市の歴史を学ぶ場がなくなる
プラネタリウム	理科学習に支障が出る、学習機会の消失

⑤ 図書館ボランティア団体（主に市内で活動する4団体）

■概要（活動状況と長所、課題）

- 全ての団体が1年を通して日常的に活動している
- 同じ趣味を持つ友人ができたり、技術や知識を身につけることができることを評価するとともに、自分達の活動を、鑑賞する人、参加する人に喜んでもらえることにも意欲を持っている
- 蔵書冊数や種類、スタッフの対応、駐車・駐輪台数等が評価されている。

■新しい文化センターに対して期待することなど

- ・子どもがゆったり座ったり寝転がったりして本を読んでも良いスペースが欲しい。
- ・新しい絵本、児童書を増やして欲しい。
- ・児童書の開架スペースを広げて、書庫に入っている本を多く出して欲しい。
- ・学生や子ども、お年寄りがもっと気軽に飲食できる場。

■施設が廃止された場合に生じる問題点

- ・活動の場が失われる

⑥ 郷土資料館（郷土資料館市民学芸スタッフ）

■概要（活動状況と長所、課題）

- 1年を通して日常的に活動している
- 同じ趣味を持つ友人ができたり、技術や知識を身につけることができることを評価するとともに、世代や地域を越えた交流が生まれること、活動で福祉や教育に貢献することにも意欲を持っている
- 開館時間が適している、公共交通機関を使用して行きやすい、駐車・駐輪場が十分ある点が評価されている。一方で、収蔵庫が不足している、設備・備品が整備されていない点が課題とされている。

■新しい文化センターに対して期待することなど

- ・デジタル関係の設備の充実（モニターの設置、動画の生配信等ができる環境）
- ・資料を適切に管理することのできる収蔵庫の整備

■施設が廃止された場合に生じる問題点

- ・白井市における文化財の保管管理を行う施設がなくなり、後世へと白井の歴史を残すことが困難になる。

⑦ プラネタリウム（白井天文同好会）

■概要（活動状況と長所、課題）

- 1年を通して日常的に活動している
- 同じ趣味を持つ友人ができたり、世代や地域を越えた交流が生まれること、活動で地域の活性化に貢献することを評価するとともに、自分たちの活動を、鑑賞する人、参加する人に喜んでもらえること、活動で福祉や教育に貢献することにも意欲を持っている。
- 施設（投影機等）の性能が良い、利用料金が手頃、プログラムが良い、スタッフが良い、駐車・駐輪場が十分ある点が評価されている。一方で、課題は特に指摘されていない。

■新しい文化センターに対して期待することなど

- ・館全体的に暗い雰囲気を感じるので明るい雰囲気になってほしい。

■施設が廃止された場合に生じる問題点

- ・学生の投影の機会やスターキッズなどの子どもが星に触れる機会が減ってしまう。

⑧ 工業団地協議会

- 工業団地内に会議関連施設があるため、文化センターの利用は少ない。
- 事業所活動にとって文化センターの有無はさほど影響がないが、市民にとっては必要な施設との意見あり

5) 施設見学会

■ 見学して気になったこと

- 施設を運営するには設備だけでなく、メンテナンス・人・収益性など諸々が必要であることがよく分かった。
- 電気系統（Wi-Fi や照明の LED など）は新しくする必要がある。
- バックスペースをもっと広くする。客席数を増やす。図書館の防犯対策。
- 中ホールの防音。
- 近隣の市からも人が来られるようなイベント（劇など）をしてほしい。
- せっかくこれだけ立派な施設を持っているのだから、機能を更新・近代化して、白井市だけでなくニュータウンの中核施設として利用されるようになってほしい。
- 子ども向けの演劇・演奏会・映画上映会・企業のイベント。
- ケータリングができるようになったら人流が変わるのでは。
- 催し物をデジタルサイネージで掲示、検索できるようにする。
- 耐震・安全性を確保してほしい。

■ 廃止の場合に生じる問題

- 現施設を維持するのが良い。文化センター廃止は白井市民全体の文化水準を下げることであり生涯教育含め、健康で文化的な白井市を維持してほしい。
- 廃止は絶対反対。学校関係も大いに利用する。子どもたちの発表会・演奏会で利用する。
- 文化センターはコミュニティ活動に利用されているだけでなく、千葉 NT へ人を誘引する機能もある。
- 図書館が無くなるのは絶対に困る。
- 白井市の“売り”のひとつ。白井市に人が呼べる施設が無くなるとますます知名度が下がる。廃止したら再度建てることは不可能ではないか。
- 30～50代などの働き世代でも活用できる施設であるべき。

6) 市民ワークショップ

■ 各回のテーマ

- 第1回 白井、白井市文化センターのじまん・ふまんを考える
- 第2回 施設のコンセプトを考える
- 第3回 施設に必要な機能を考える
- 第4回 施設機能の規模、設備を考える
- 第5回 市民参加について考える

■ 全体の意見

- 施設面では、現状の機能を維持し、活用していくとともに、より幅広い利用に対応できるよう機能向上を求める意見が多かった。
- 運営面では、現状の企画等を維持しながら、子どもや若者を対象とした企画や事業全体の情報発信の強化などを求めるご意見をいただいた。
- 4施設だけでなく、カフェやコワーキングスペース、人の集まれる多目的スペースなど、日常的に利用できるスペースを求める意見もいただいた。

- 施設別の意見（施設面、運営面を含む）
- | | | |
|---------|-------------|------------------------------------|
| 文化会館 | ○維持 | ◇機能向上、運営での改善点 |
| 図書館 | ○大ホールの音響、響き | ◇中ホールの防音・遮音性の向上 |
| 郷土資料館 | ○蔵書数、サービス | ◇閲覧席、CD・DVDの追加、
児童コーナーの防音・遮音性向上 |
| プラネタリウム | ○白井の歴史等の展示 | ◇子どもや若者も楽しめる企画 |
| 共用部・その他 | ○充実したプログラム | ◇利用しやすい放映時間の設定 |
| | | ◇カフェ、コワーキングスペース、
多目的スペースの追加 |

■ 望ましい姿・コンセプトについての意見

- 生涯学習や文化の発信拠点、文化芸術以外も含めた文化的なトライアルの場
- 全ての市民が集まりたい場所、子どもや若者、現役世代も利用しやすい環境づくり
- 良い刺激をもらい、元気になって帰れる場所、新たな白井、新たな自分に出会える場所

■ 市民参加についての意見

- (鑑賞・体験者)文化会館のイベント鑑賞、図書館利用、プラネタリウム鑑賞
- (運営サポート)催事でのもぎり、IT サポーター、おはなし会ボランティア、資料修補の手伝い
- (出演・指導者)劇・コーラス・合唱など発表の場として出演したい
- (企画・推進役)施設の省エネや改修について考える活動に参加したい

②事業内容と利用状況

		文化会館 大ホール	文化会館 中ホール	図書館	プラネタリウム	郷土資料館	その他（全体・共用部など）
事業内容	主な事業	施設の貸出、自主事業（鑑賞事業等）		蔵書の貸出、読書の普及活動など	プラネタリウム投映・投映外事業	郷土資料の展示、教育・普及事業	
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・クラシック音楽を主とした鑑賞型事業等（2017～2019年度 12事業 参加者6,541人）※1 ・参加者の7割超が50代以上 ※2 ・クラシックコンサートの要望多い ※2 	・なし	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児～小学生とその保護者を対象とする事業が中心（おはなし会等） ・大人向けの事業は「朗読会」など少数（2018年度 16事業 参加者2,680人）※4 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般、子供向け投映 ・プラネタリウムでのコンサートや朗読会、屋外での天体観望会、天体講演会等（2018年度 11事業 参加者19,816人）※ 	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展、企画展、古文書修補済資料展 ・古文書講座、勾玉づくりなどの体験教室、講演会など（2018年度 22事業 来場者15,089人）※ 	
	他施設との連携	・なし		（プラネタリウムと連携）2事業 「にんさんぶプラネタリウムwith図書館」 「プラネタリウム合同おはなし会」 通常のおはなし会に比べ、参加者多数 ※4	（図書館と連携）2事業 「にんさんぶプラネタリウムwith図書館」 「プラネタリウム合同おはなし会」 （郷土資料館と連携）2事業 郷土史講座「くらしの中の星たち」 「江戸時代の時刻と十二支」※6	（プラネタリウムと連携）2事業 郷土史講座「くらしの中の星たち」 「江戸時代の時刻と十二支」※8	
利用状況	入館者数	67,381人 （2018年年度 開館日数：286日） ※3		257,512人 （2018年年度）※1	19,816人 （2018年度 自主事業参加者）※6	15,089人 （2018年度 自主事業来場者）※8	○ホール練習室 ・主に舞台芸術活動の練習に利用 ※1
	施設利用実績	■貸館 【目的・用途】 ※1 ・舞台芸術活動 7割 会議・集会等 2割 （クラシック等生音中心の音楽5割） 【利用者】 ※1 ・各種教室、団体、民間企業等 7割 （市内5割、市外2割）（免除なし） ・市教育部、学校関係 2割（全額免除） 【利用人数】 ※3 ・600人以上（定員802席）3割	■貸館 【目的・用途】 ※1 ・大会・集会、会議・講習 6～7割 ・舞台芸術活動 2～4割（ピアノ発表会等） 【利用者】 ※1 ・各種教室、団体、民間企業 6～7割 （市内4割、市外2～3割）（免除なし） ・市教育部、学校関係 3～4割（全額免除） 【利用人数】 ※3 ・100人以下（定員300人）7割	■登録・貸出・予約状況等 ※ 【貸出】 ・461,117冊（一人あたり7.3冊） 【登録者数】 ・19,555人 【蔵書冊数】 ・554,773冊（一人あたり8.7冊） 【予約点数】 ・89,959点	■自主事業 ※ 【来場者】 プログラム参加者 ・年代 一般投映、天体観望会：全て 子供向け投映：親子 天文講演会・講座：40代～ 星空のコンサート：60代～ ・居住地 市内3～6割、市外4～7割 （多くのプログラムで市外が多数）	■自主事業 ※ 【来場者】 講座参加者 ・郷土史講座 市内7割 市外3割 ・古文書講座 市内8割 市外2割	

※1 白井市文化会館施設利用実績統計一覧（平成29年度～平成31年度）
 ※2 白井市文化会館 主催事業アンケート（平成30年度）
 ※3 白井市文化会館施設利用実績統計一覧（平成30年度）
 ※4 白井市図書館事業実施状況（平成30年度）
 ※5 平成31年度図書館サービス指標
 ※6 白井市プラネタリウム事業実施状況（平成30年度）
 ※7 白井市プラネタリウム自主事業来場者調査（平成30年度）
 ※8 郷土資料館展示事業・教育・普及事業状況（平成30年度）
 ※9 白井市郷土資料館自主事業来場者調査（平成29～31年度）

③運営管理者（職員）の意見

	文化会館 大ホール	文化会館 中ホール	図書館	プラネタリウム	郷土資料館	その他・共用部
ハード面 課題	長所 ・音が良い（音響設計より評価）		・視聴覚ブースは人気がある （現在は利用停止中）		・展示室の規模が子どもに目が届いて 良いとの意見あり	
	<p>【客席・ホワイエ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 客席天井が特定天井（落下対策が必要） 客席扉の部品交換が高額（輸入品のため） 客席椅子が標準寸法より一回り小さい 高所の電球の交換が困難 親子室内の仕切りの改修 1階から2階へのエレベーターがほしい 入場前の待機スペースが十分でない 空調の個別調整（暖房時、2階ホワイエが暑くなる） <p>【舞台・舞台特殊設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 床が水平でない／袖が狭い／通路の明かりが洩れる 舞台後方の空調設備が幕を吸い込む <p>・舞台機構：</p> <ul style="list-style-type: none"> 綱元が中二階にあるため使いづらい／緞帳以外速度可変が出来ない／バトン間隔が狭い箇所がある <p>・舞台照明：</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種機材等の老朽化／LED化／調光卓のデジタル化／フットライト使わない／フォロースポットの更新・転倒防止措置 <p>・舞台音響・映像：</p> <ul style="list-style-type: none"> EVマイクのメンテナンスが困難／16mm映写機は使わない／2Fホワイエにモニター必要 <p>【楽屋】</p> <ul style="list-style-type: none"> 数が不足／小上がりは不要／地下階で動線が不便／袖を経由せずホワイエと連絡したい 給湯器の故障 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務所が狭い、動線を舞台袖と分けたい 車椅子トイレが狭い、授乳ブースを充実させたい 	<p>【客席】</p> <ul style="list-style-type: none"> 遮音が不十分（上下階に響く） 客席を倉庫に収納しきれない 客席の照度が不足 客席シーリングの使い勝手が悪い 窓面のロールスクリーンがオーバースペック <p>【舞台・舞台特殊設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 舞台が狭い 舞台裏で上手下手の移動ができない 舞台設備を更新していない <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大ホール、中ホールの中継機能 ピアノ倉庫がほしい 	<p>【閲覧室】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子書籍利用のため、個別で使える机があるとよい 6人掛け席の必要性（今はコロナで2人掛け） 対面朗読室を廃止し、作業室に対面朗読用ブースを設けたい 本の日焼け防止（窓に遮光フィルターを貼ると良い） 児童コーナーの音が響いてしまう <p>【書庫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 閉架書庫の二重壁から湿気漏れ 閉架書庫の移動棚の動作に不具合 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 搬入経路の幅が狭い 1階のトイレが図書館内にしかない 地下の空調の効きが悪い 盗難が多い、ICタグの予算がない 	<p>【投映室】</p> <ul style="list-style-type: none"> 天井部分に雨漏り（加湿による結露が原因） 椅子のリクライニングが故障 椅子の幅を広くしたい ドアクローザー等は日本製が良い（外国製は高価） <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> プラネタリウム専用のアクセス動線が欲しい 屋上に行けるエレベーターが欲しい 満席時の避難動線が懸念される 3階まで人が来ない 館内放送を3階からできると良い トイレに人感センサーがほしい パソコンの更新が必要 	<p>【展示室】</p> <ul style="list-style-type: none"> 結露で天井から水が垂れる 展示ケースのガラス劣化、開閉困難 ガラスケース付きの部屋が欲しい 企画展を行うスペースがない <p>【収蔵庫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小さくて飽和状態 ガス消火設備を設置したい <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 収蔵庫と展示室の空調が同一系統で、個別に温湿度管理ができない 雨の時の搬入はBM車庫に車をつけて図書館の作業室を通る必要がある 大きい物の搬出入は階段 事務室から展示室の状況が分かりにくい 修補作業専用の部屋が無い 文化センター全体の施設管理上、エレベーター、階段の壁への展示ができない 	<p>【屋根・屋上・壁等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体的に壁のクラック、雨漏り、結露がある 庇の表面材が剥落してきている タイルの剥落は打診検査や赤外線検査が必要 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的に機器の全更新が必要 トイレ等のバリアフリー化が必要 wi-fi等のネット環境が不十分
ソフト面 課題	長所 ・市民の利用団体、保育園、幼稚園の発表会が多い ・鎌ヶ谷、柏などからも申込がある ・土日はほぼ埋まっている ・体育館を持っていないため、文化祭など市の事業が多い	・大ホールに比べ会議や展示が多い ・郷土資料館の展示をしたこともある	・展示や市民参加を促す取組みを実施 ・書庫、書架は余裕がある ・蔵書管理はしっかりしている ・購入した分だけ除籍する ・プラネタリウムと連携行事を行う	・周辺市から利用がある ・周辺地域はプラネタリウム密集地帯（1時間圏内に11館程度） ・リピーターが3分の1から2分の1 ・満足度は高いと感じている	・図書館、プラネタリウムと協働 ・県の移動博物館の時にボード展示縄文関係で図書館と一緒に勾玉作り ・資料館自体が白井の情報発信を担う	
	・2年で職員が交代していたため、長いスパンでホールを見られない ・事業決定までに時間がかかる（単年度予算のため、計画開始が4月からで実行は早くも秋頃） ・他施設との連携が活発でない ・公演後の飲食等のニーズに応えられない（近隣に施設がない） ・有料イベントで満席になることはあまりない（学校行事は満席）		・予約本、書庫の本はセルフ貸出不可 ・図書予算が少ない ・購入する本が少なく、本棚の鮮度をあげるには棚を減らすしかない ・データベースが朝日、毎日のみ ・小学生くらいになると来なくなる（立地的にも不便）	・情報発信が弱い ・図書館での放送など、連携して呼び込みたい（現状禁止） ・職員の後継者がいない ・年間経費は委託、指定管理より、直営の方が安価	・古文書修復作業のボランティア不足 管理する人間が少ないため対応困難 ・担当が2名でアウトリーチは厳しい ・教育普及担当がおらず、学校のことを知らないと感じる ・古文書講座、体験教室の要望が多い ・本庁にギャラリーができたことで、平成29年は入館者数が減少	

④運営協議会の意見

		文化会館 大ホール	文化会館 中ホール	図書館	プラネタリウム	郷土資料館	その他
現在の施設 について	継続したい点 評価できる点	・音が良い	・多用途に対応 (客席調整、平土間可) ・小規模な音楽系の発表会で利用		・生涯学習施設、幼小中の学習施設 ・幅広い年齢層へ向けたプログラム ・生解説が好評	・展示室・収蔵庫などの施設 ・博物館機能の維持が非常に重要	
	運営の課題	・収益事業が少なく維持費がかさむ ・200~300人程度が市民利用には 適している(800席は過大)		・サービス拡大には人員不足 ・本の破損・盗難 ・夏休みは利用者が増え、狭く感じる	・プログラムの継続を考えると人員 不足	・調査・研究、展示、保存を学芸員 2人で担っており、講座等の自主 事業が不十分 ・小学生・高齢者以外の来館が少ない	
	新たに必要点	(コロナを前提とすると) ・席間隔の調整・飛沫防止パネル ・音は良いので配信設備を備え、 少人数の有観客の配信ライブを 実施してはどうか(専門家の診断 を受け、該当ジャンルのアーティ ストに営業する) ・舞台技術にサポートスタッフ	・遮音性能の向上 (対図書館、プラネタリウム) ・舞台袖の拡張	・資料費の増額 ・移動書庫の装置の修繕 ・Wi-Fiの充実 ・本の日焼け対策 ・電子書籍関連設備の導入 ・話せる空間と静かな空間の区分 ⇒お話の部屋の活用など ・大きな本を広げられる閲覧 スペース	・オンラインを活用したイベントも 視野に入れる ・投影機・望遠鏡は更新したばかり で、規模・席数も不便なし。 安全性に問題がなければ施設は このままで良い	・改修・機能向上した上で、少し でも規模拡大できると良い ・収蔵庫拡大(図書館との共用は 困難) ・学芸員専用の作業部屋確保 ・郷土資料館専用の講座室確保 ・資料のデータベース化等、イン ターネット対応できる人材 ・学校教育との連携、ICT化の推進 (全学的検討)	
他施設 について	継続したい点 評価できる点	・文化センターは生涯学習施設として全ての機能が重要、維持してほしい ・市民団体の発表会や、他地域の団体との交流会のような連携		・プラネタリウムと連携した、マ タニティ関連の読み聞かせ活動	・図書館と連携した妊産婦向けプロ グラム ・プラネタリウムの後に図書館を 利用することがある ・エントランスは文化祭や作品展で 利用	・プラネタリウムと連携した講座 ・ホールとの連携は難しい (800席が埋まる講演会はない)	
	運営の課題	・行政が市民の自主的な生涯学習をどのように応援する街なのをもっと アピールしてほしい			・喫茶室は入口が分かりづらい印象	・専門人材(総合的に活動をプラン ニングする人)がいない	
	新たに必要点	・気軽に入れて本を読んだりできる喫茶店 軽食スペースであれば自動販売機とテーブル・椅子があるだけでも良い		・カフェ機能(若者も来やすい) ・認知症カフェ ・プラネタリウムを活かした図書 利用促進 ・小学生・お年寄りへの文化事業を 他施設と一体で行いたい	・屋内での飲食スペース	・施設全体での情報発信の専門部署 ・カフェ機能もあると良い	
あり方検討 について	改修後に 期待すること	・お金をかける以上、収益を上げて費用を回収しないと市民も納得しない ・市のPRになる、誇れる施設となること ・市民が気軽に発表会をできる場所になると良い ・地域の文化創造、育成、発信拠点であり続けることが重要		・本が好きでなくても気軽に立ち 寄れる場所 ・不登校の子供たちを受け入れ ・認知症等の高齢者も安心して利用 できる館	・客層の新規開拓・リピーターの確保	・市民の生活に溶け込む、気軽に 利用でき、誇れる施設 ・現状の設備を活かし、博物館の 役割を果たせるように改修	
	廃止の場合 の影響	・生涯学習を望む市民への学習や活動場所、仲間づくりの場の提供、活動 の継続性を絶ってしまう		・市内に本屋がなく、読書の機会が 失われる ・若い人に訴えかけるアピールポイ ントがなくなる (4館残してほしい)	・学習投映に大きな支障をきたす ・市外から集客する施設であり、 対外的にアピールできるポイント が減る	・学校教育との連携が失われる ・生涯学習都市宣言から歴史・文化 を除くと捉えられかねない ・資料を寄贈して下さる市民の信頼 を裏切る	

全て 運営協議会ヒアリング より

⑤市民意見（市民アンケートより）

全体概要

施設別の良いところ、課題など

項目	内容	施設別の良いところ、課題など				
		文化会館	図書館	プラネタリウム	郷土資料館	
利用状況	<p>【利用経験有り】 図書館76%、文化会館63%、プラネタリウム50%、郷土資料館31%</p> <p>【利用経験が無い】 理由は「用事がないから」が多数</p> <p>【複数施設の利用】 「複数施設の利用は無い」7割。施設ごとに目的を持って来館する傾向 利用する場合は、図書館とほかの施設との組み合わせが多い 「文化会館と図書館」54%、 「図書館とプラネタリウム」23.4%「図書館と郷土資料館」17.5%</p> <p>【来館頻度】 全施設で「数年に1回程度」が過半。図書館のみ「年1回以上」が半分弱</p>	長所	<ul style="list-style-type: none"> 規模・広さがちょうど良い 居心地・座り心地が良い 音響が良い、舞台が見やすい 親子室がある 設備・備品が良い 駐車場が広い 	<ul style="list-style-type: none"> 閲覧スペースの居心地が良い 蔵書が豊富 本が探しやすい 勉強に使えるスペースがある 	<ul style="list-style-type: none"> 施設が広く、居心地が良い 	<ul style="list-style-type: none"> 施設がきれい
利用目的	<ul style="list-style-type: none"> ■文化会館 「発表・公演・展示」61%、「催しの鑑賞・体験」54%、「練習」1.6% ■図書館 「本を借りる」76%、「調べもの」30%、「新聞・雑誌等の閲覧」15% ■プラネタリウム 「プラネタリウム投影を見る」(個人)69%、(団体)23% ■郷土資料館 「常設展を見る(個人)」53%、「企画展を見る(個人)」36% 	課題	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリーが不十分 トイレが少ない 座席幅が狭い 休憩・待機スペースが少ない 駐車場の不足 駅から遠い、バスが少ない 食事をするとところがない 	<ul style="list-style-type: none"> 閲覧スペースの不足 施設が古く環境が良くない 蔵書が古く種類が少ない トイレが使いにくい 書庫にある本が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 座る場所によっては見づらい 席の座り心地が良くない 	<ul style="list-style-type: none"> 施設が狭く雰囲気が暗い
文化センターの満足度	<p>【満足度】 「満足している」35%「満足していない」9%「どちらでもない」49%</p> <p>〈上の理由〉</p> <p>【満足している】 ・施設が広くきれいで居心地が良い ・規模が適当 ・施設・設備が充実 ・催物等の事業が充実 ・アクセスが良い</p> <p>【満足していない】 ・バリアフリーが不十分 ・魅力的な催し物がない ・アクセスが良くない</p> <p>【どちらでもない】 ・利用経験・機会がない・少ない ・施設の情報が分からない ・魅力的な催し物がない ・自宅から遠い、アクセスが良くない</p>	長所	<ul style="list-style-type: none"> プロの演奏、公演、講演等を楽しむことができた 子どもが舞台に立つ経験ができた 職員の対応がよい 	<ul style="list-style-type: none"> 職員の対応が丁寧 ネットで手続き可能 借りた施設以外で返却可能 本をリクエストし、購入してもらえる 	<ul style="list-style-type: none"> 解説、プログラムが良い 市の施設として誇れる 身近にある・気軽に行ける 料金が安い 	<ul style="list-style-type: none"> 白井の歴史を学べた 展示が興味深い 子どもの体験教室 職員の対応がよい
新しい文化センターに期待すること	<p>【施設の方向性】 ・幅広い世代の市民が利用しやすい、集まりやすい施設 ・親しみやすい、身近な施設 ・文化活動の拠点</p> <p>【施設面】 ・カフェ等の飲食施設の充実 ・新しい施設/スペースの設置（コワーキングスペース・子ども用プレイルーム・体育施設・コンビニ等） ・設備・備品の更新 ・施設規模の最適化の検討 ・施設の存続 ・アクセスの向上（バス本数の増加等） ・駐車場の増設</p> <p>【事業・運営面】 ・催し物の充実（内容・回数） ・情報発信の強化 ・運営方法の見直し</p>	課題等	<ul style="list-style-type: none"> チケット等の情報が分からない 公演チケットが窓口で買えなかった 職員の対応が良くない 鑑賞・体験するにあたり重視すること「公演内容」「出演者」 練習活動場所について重視すること「使用料が手頃」「集まりやすい立地」 催しの鑑賞・体験のない回答者が約半数 	<ul style="list-style-type: none"> 人気の本の予約待ちが長い 閲覧席のマナーの悪さ 閉館時間が早い 	<ul style="list-style-type: none"> プログラムの種類が少ない 職員の解説、対応がよくない 上映時間が限られていて予定が合わない 	<ul style="list-style-type: none"> 展示に魅力がない 講座・体験教室の数が少ない 情報発信の不足 ボランティアガイドがいない

その他の意見 ・要望など (政策全般・財源等に関するもの)	<p>・この絶望的なコロナ禍では何も要望できない。今後は縮小・削減はやむを得ないと思われる。(40代/男性)</p> <p>・箱物にはお金をかけてほしくはない。その都度補修して使えば良い。お金は大切に使う。無駄遣いはやめましょう。(70代以上/男性)</p> <p>・文化センターにお金をかけるより、不妊・不育などに関する補助金など世帯、暮らしている市民の幸福に寄り添ってくれる市であってほしい。白井市は上記のような補助制度が手薄であり、住みたいと思えない。もっと魅力的な市になってほしい。(20代/女性)</p> <p>・コンパクトシティを目指すとのことで市の中にいろいろな施設を作るのも良いと思いますが、それには財源も必要となります。市民の為になるものであってもっと根本的な市民サービスが公平に提供されるためには満足度の低いものや維持費のかかるものについては考え直していただきたいです。身近なところであれば伊西市との差が感じられます。福祉に力を入れる、教育に特化する、環境整備をしっかりするなどどれか一つにフォーカスして確実に自治体として力をつけていかなければならないのではないのでしょうか。(50代/女性)</p>
-------------------------------------	--

⑥市民意見（市民ワークショップ）1

文化会館 大ホール	文化会館 中ホール	図書館	プラネタリウム	郷土資料館	共用部・その他
●第1回テーマ「白井、白井市文化センターのじまん・ふまんを考える」					
【じまん】 ・音響が良い、響きは残してほしい ・施設が立派 ・キャバがちょうど良い 【ふまん】 ・公演情報がよく分からない ・子どもや若者向けの企画がほしい ・利用料金が安い ・800人の集客が難しい ・有名人が来なくなった	【じまん】 ・ピアノグレードが良い 【ふまん】 ・音の制限があり、使い勝手が悪い	【じまん】 ・大きい、たくさん借りられる ・サービスが良い ・公民館でもオンラインで取り寄せられる 【ふまん】 ・CDや映画のDVDが少ない	【じまん】 ・設備、企画が良い 【ふまん】 ・近隣市の校外学習にも活用してほしい	【じまん】 ・該当なし 【ふまん】 ・イベントが若者向けでない	【じまん（施設・運営）】 ・幼い頃から文化に触れることができる環境がある ・劇場以外の施設がある ・文化施設が市の中心にある 【ふまん（施設・運営）】 ・サークルに使いやすいよう施設使用料を見直し ・文化祭だけでなく、市民の発表の場を増やしてほしい ・食事を食べる場所（フリースペース）が少ない
【まちなじまん】 ・梨がおいしい、収穫量が全国でNo.1 ・小さいまちで人とのネットワークが作りやすい 【まちなふまん】 ・市内の交通便（市バス）が少ない ・文化芸術のプレイヤー（若者）が市から出て行きがち					
・緑が多く散歩が楽しい ・街が成長し続けていて若い世帯も入居しやすい ・ふるさと祭りがにぎわっている ・学校の合唱が盛ん ・総合公園が美しい ・演劇や踊りのサークルの発表の場が少ない ・若い世代のコミュニティ拠点がない					
●第2回テーマ「施設のコンセプトを考える」					
【維持したいこと】 ・大ホールの音響の良さ ・大ホールの幼児と楽しめる席（親子室） ・白井市民文化祭、合唱コンクール ・市民の学びの場、発表の場 【新規追加したいこと】 ・イベントの充実（プロアマ問わず）、市民との共同企画 ・情報発信やPRの強化 ・文化芸術面での若者・子どもへの支援 ・中ホールを防音にし、演劇ができるように	【維持したいこと】 ・蔵書の多さ ・幼児、赤ちゃんへの読み聞かせ、おはなし会 【新規追加したいこと】 ・閲覧席の増設 ・子どもが利用しやすい空間 ・会話可能な空間 ・電子書籍の導入 ・書籍の紹介、発信	【維持したいこと】 ・設備、投映機 ・充実したプログラム ・学習投映 【新規追加したいこと】 ・気軽に利用できる投映時間や興味をわくプログラムの設定 ・PRの強化 ・他市の校外学習にも活用してPRにつなげる ・天体の展示を増やす	【維持したいこと】 ・無料 ・白井の歴史、文化の紹介、展示 【新規追加したいこと】 ・若者や子ども向けの企画 ・身近で子どもも楽しい体験 ・特別展は市外も含めてPR ・絵画展や写真展の開催 ・ボランティアによるガイド	【維持したいこと】 ・子どもにやさしい施設 ・施設間の連携事業 【新規追加したいこと】 ・カフェ・飲食スペース ・コワーキングスペース ・人の集まれる場、多目的スペース ・個人やサークルが気軽に発表できる場 ・若者や子どもが興味を持てる視点	
【各グループで検討いただいたコンセプト】 ・まずは市民が集まる→試す→参加する→継続する→看板ができる→発信する（市外にも）→集まる…というスパイラルが広がるようにしたい ・PRを強化して今あるものを最大限利用する ・白井を発見！自分を発見！～ここに自分がある～/白井に出かける 白井で出会う ・現役世代が足を運びたいような施設づくり（場所・スペース）/どの世代にも知ってもらいたい					

⑥市民意見（市民ワークショップ）2

文化会館 大ホール	文化会館 中ホール	図書館	プラネタリウム	郷土資料館	共用部・その他
●第3回テーマ「施設に必要な機能を考える」					
凡例：事業内容や要望→必要な機能等					
<ul style="list-style-type: none"> ・文化交流/発信の拠点にする →練習室/研修室の増設 ・子育て中でも文化芸術を楽しみたい →両ホールに親子席、託児所 ・パブリックビューイング →スクリーン、ネット環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用の幅を広げる →防音/遮音性向上、舞台袖 ・音量の大きな楽器の演奏 →諸室の防音/遮音性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが靴を脱いで本を見られる場、声が響かない児童コーナー →児童コーナー、お話しの部屋の改築、防音/遮音性の向上 ・パソコン持込可のスペース →閲覧席、ネット環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・アロマや音楽とともに星を見る →客席に香りを出す装置を追加 ・屋上で天体観測 →設備機器と保管庫を設置 ・展示スペースの拡大 ・屋上の床を補修 ・屋上に車椅子の利用環境を整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・着物、農具の体験コーナー →館内にイベントスペースをつくる ・郷土料理や地元の農作物の食体験 →館内に調理施設を新設 ・収蔵庫を更新して容積を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ・リモートワークができるスペース →小部屋（共用部）、電源、Wi-Fi、プリンター ・気軽に集えるスペース →オープンカフェ・交流スペース ・ロビーコンサート →ロビー、図書館の防音/遮音性の向上
運営面での変更、工夫についてのご意見					
<ul style="list-style-type: none"> ・ホールが稼働しない日の楽屋、リハーサル室の活用 ・舞台技術スタッフを施設で養成する、文化サークルの育成講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが騒いでも良い日・時間を設ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントを定期的に駅でPR 	<ul style="list-style-type: none"> ・展示を1階のロビーにも置く 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味のある文化活動を探せる機能をつくる 	
●第4回テーマ「施設機能の規模、設備を考える」					
凡例：事業内容や要望→規模/設備等					
<ul style="list-style-type: none"> ・演劇・ダンスサークル、白井のアマ・プロ音楽家の発表会 →600名 ・パブリックビューイングで観戦・応援 →800名/スクリーン・ネット環境 ・レッスン室（音楽・ダンス） →50㎡・30㎡/防音、鏡（大ホールで催しのない日は市民利用可） ・楽屋・換気の設備の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏会・発表会・コンサート全般 →100~200名/防音、簡単な照明が打てる設備、舞台をより大きくして舞台袖をつくる ・子どもが遊べるイベント →遊具 ・デジタルコンテンツ →100名程度/VR/ARの設備 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子ルーム（飲食・会話可、本を読んだり寝転んだりできる） →5組、20名程度/防水マット ・リモートワーク・ビデオ視聴用個室 →1~4名/防音、Wi-Fi、電源、モニター、プリンター ・庭に向けてのオープンスペース（森の読書学習室） →8~10名/カウンターとイス 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験・WS工作を増やす →アトリエ併設（スキルを持った市民を講師に） ・考古発掘教室、かんたんな古文書の読み方教室 →教室ができる場所 ・個人のコレクション →展示ケース 	<ul style="list-style-type: none"> ・キッズ対象の野外授業、星見キャンプの疑似体験 →席を取り外して床全体を使えるようにする（可動席） ・お話し会（星座、民話、怪談） →80名/音響設備 ・星を見ながらお茶を飲める（プラネタリウムカフェ） →距離を取っておける数/個別ソファ席 	<ul style="list-style-type: none"> ・1階エントランスホール 休憩コーナー（会議等にも使用可） →テーブルとイスをいくつか ・リモートワーク用個室、会議室（週末は楽器練習室として利用可） →1人または4~8人規模/防音、電源、モニター、カフェ併設、館内共用のWi-Fi、プリンター ・屋外でのマルシェ・ファーマーズマーケット →100名/飲食スペース、電源
●第5回テーマ「市民参加を考える」					
凡例：①鑑賞者・体験者としての参加 ②サポートスタッフとしての参加 ③出演者・指導者としての参加 ④事業の企画推進役としての参加 ⑤事業パートナーとしての参加					
<ul style="list-style-type: none"> ①イベントに鑑賞者として参加 ②コンサートもぎりなど短時間サポート、広報などに関わりたい ③劇・コーラス・合唱団など発表の場として出演したい ④市民が主役になる発表会を100日で作ってみるプロジェクト、市内の子供たちに発表の場を提供、文化祭企画の見直しを提案し、個人でも発表会・展示会ができるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ①書籍・CD利用、おしゃべりの場として使いたい ②施設利用者へ図書館PCの使い方をサポートをするITサポーター、おはなし会のボランティア ④手書きPOP・コラムなどでおすすめの本をアピールする、読書会運営 	<ul style="list-style-type: none"> ②資料修補・遺跡発掘のお手伝い ④郷土を題材にした小説・歌・シナリオ公募、民話の読み聞かせ、昔の道具を使った生活体験企画、白井の遺跡や名所めぐりツアー、郷土資料館名物を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ①プラネタリウム鑑賞 ②星見会だけでなくいろいろなお手伝い ③デジタル技術活用の学習イベント、コンテンツを作り、3Dなどの技術の発信源を目指す、宇宙を題材にした小説の朗読会 	<ul style="list-style-type: none"> ①リモートワーク利用 ②バックステージツアーのサポート ③写真などの展示 ④施設を中心に白井駅から周辺環境作りに関わりたい、白井の文化芸術系コミュニティと市民を繋ぐ文化センターコンシェルジュ、市民参加で施設の省エネや改修を考える活動に参加したい ⑤地域文化クラブ・子どもクラブを育てる 	